

幼の兒の教育

號六第 號月六 卷六十三第



東京女子高等師範學校
日本幼稚園協會

文學士 寺田精一著

兒童の惡癖

◆重版!! 菊判洋綴全一冊紙數五百頁
定價金三圓五拾錢送料廿二錢

兒童惡癖の初期診斷と其治療
矯正の實際的研究書!!

教養者が特に注意してゐる問題であるに拘らず
兒童の惡癖はその處遇に關して頗る曖昧な態度が
取られてゐるのは、畢竟、惡癖の由つて來る所が複
雜であるのと、教育家にその方面の餘裕なき爲で
あり、従つて兒童の生活に對する周密な觀察や、懇
切な注意も届かず、往々にして絶望的態度が先入
してゐることすら決して稀ではない。本書は教養
上より觀た主なる惡癖を選び、心理學的見地より
深く童心に立入つて考察したもので、これ等に最
も肝要な條件たる諸原因及び其の性質の何たるか
は勿論、癖となる虞あるもの、癖となるべき初期の
程度にあるもの、判斷と、その矯正法を詳述した
通俗且實際的な兒童教養書である。各小學校、幼稚
園の常備書として、教育家各位の御精讀を望む。

發兌

東京市牛込區
板橋東京三八四七

中文館書店

東京高等師範學校教授 文學博士 小野島右左雄著

四版 最近心理學概說

本書の最も特長とすべき點は全卷一貫せる思想を
以て凡ゆる精神事實を巧に説明し全卷暗示に満ち
本書上下二卷を味讀すれば、一般心理學・兒童心理
學・青少年心理學・發達心理學・個性心理學・社會
心理學・變態心理學・動物心理學・教育心理學等
の凡ゆる心理學の一般智識を獲得すべきは勿論
學者は本書に依つて斯學の一脈系を知るに止まら
ず科學の方法論・生活論・倫理學の成立と新しき哲學
兒童の心理體制的理論と教育の新方法を教へられ、
體制的の最も即時的理論と應用を示され斯くてこそ
陣に立ち此思想圖彙の打明に資す。

文部省立研究所技師 醫學博士 吉田章信著
定價一圓二十錢送料廿二錢

新刊 方式學校衛生評價

本書は學校衛生施設の評価を研究したもので、全般的に學校衛生の向上を計
り、更に在學中に得たる効果を他の一部に於て失はざる程始終連絡を
取、更に在學中に得たる効果を他の一部に於て失はざる程始終連絡を
と各擔任の定めかた、學校に關する關係官廳に於ける施設、師範教育に於ける
正と缺陷者の保健、三、健康増進、二、大綱目、に別ち以て當局者の採るべき
道を巨細に互りて評説し、斯界最高の指針とするべき也。

東京帝國大學 醫學士 青木誠四郎著
定價三圓八十錢送料廿二錢

五劣等兒童心理と其教育

等しく人類と生れ乍らも天赋程其の愚みに不平均の物はな。今般に兒童の
白痴に分類する。天才兒童は上智平均智をこし、愚鈍精神弱、低能の
等の綜合で、低能兒童は兒童の約一割を占め、彼等の子に下智、愚鈍
むべき人達の幸福を合すれば、二十%に及ぶと言ふ。著者は只普通の子に對
を世に問ふたのである。

本會夏期講習會

七月二十一日より六日間、文部省主催保育講習が東京女子高等師範學校に於て開催せられますから、その午後に於て左記講習を催します。

期 日 自七月二十一日 至二十五日(五日間)午後一時より四時まで

場 所 東京女子高等師範學校

講 師

一 幼兒の體育(三時間) 東京女子高等師範學校教授 佐々木 等 君

一 幼稚園に適切なる新遊戯(實習)(十二時間)

東京女子高等師範學校助教授 戸 倉 ハ ル 君

會 費 金貳圓五拾錢 (會費拂込後は御參否に不拘返戻いたしません)

宿 泊 本校寄宿舎(當構内)で女子に限り宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

費用一泊金壹圓貳拾錢(二食つき)宿泊料は御入舎の上でお支拂ひ下さい。

宿泊御希望で午前午後兩講習會に御出席の方は、文部省講習員としてお申込み下さい。(なほ敷布は各自御持參を便とします)

申 込 聽講、宿泊いづれも七月十日までに本會講習係宛(東京市小石川區大塚町

東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會)に講習料を添へお申込み下さい。

御住所(受信所、奉職所名)必ず御明記置き願ひます。講習料のお拂込みは

振替(東京一七二六六 日本幼稚園協會)を御利用下さい。

講習料の受領證にかへ、會員證及び汽車汽船割引券を御送附します。

汽車賃五割引 (省線、社線共) 省線でお通ひの方には講習中毎日割引券を差上げます。

汽船賃三割引 (大阪商船 大連 基隆航路及近海郵船基隆航路)

割引期間 切符購入は七月十一日より八月一日迄

通用期間 乗車券發賣の日より八月十五日迄

遊戯實習の服装は、洋服或は袴着用、靴穿きを嚴守して下さい。

昭和十一年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

●入會お申込みの節會員證と鐵道割引券とをお送りいたします縣、市、町番地と御姓名とを振替口座又は爲替に詳細に明瞭に御記入置き下さい

新刊

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集

菊版三五〇頁

定價金壹圓五拾錢

郵稅

市内 金六錢

地方・北海道 金拾四錢

臺灣・樺太 金三拾四錢

朝鮮・滿洲(滿鐵沿線) 金四拾九錢

滿洲一般 金四拾五錢

さきに發行せられた東京女子高等師範學校附屬幼稚園編『系統的保育案の實際』は非常の歡迎を受け、既に多數の方々により研究せられ又實施せられても居ります。就いてはその中に用ゐてあります談話につき、便宜一まごめにした書物がないかこの御要求が澤山ありますので、此の談話集を編纂發行致しました。右保育案を御使用の方は素より、そうでない方にも、幼稚園談話選集として極めて御便利のものご信じます。實際御使用のために定價も普通の市價の標準を離れて、出来るだけ廉價にいたしました。本會の趣旨のあるところをお汲み取りいたゞけば幸です。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際

定價 金壹圓

送料 金四錢

- 一 保育案の實際は幼稚園必須の資料
- 一 東京女子高等師範學校附屬幼稚園現行の保育の實際は各幼稚園好箇の參考
- 一 待望の本書を全國幼稚園保姆諸君に勸む

發行所

日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町卅五番地
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

○定價及郵稅を添へ本會宛直接御註文下さい。

振替東京一七二六六番

第七回 夏季保育講習會

昨年一回休會致しました償ひに非常時に際する幼児教育に對する徹底的効果を收めて聊か貢獻致したい念願に基き保育の革新を企圖し多く人の手を染めずして併も幼児に取り重且大なる環境に關する研究音楽の低下防止と向上手技の適切なる創作遊戯の革正を目指して左記の通り講習を開きます。

一期日 七月廿七日より七月三十一日迄五日間

二期日 七月廿七日より七月三十一日迄五日間

三期日 午前八時より十二時迄 午後一時より五時迄

科目と講師

東京女子高等師範學校教授
東京昭と保姆養成所講師兼顧問

倉橋 惣三先生

1 幼児の訓練

保育の中に人の性格の基礎を作る大切なる役目を有する躰方は其實施する點に幾多の疑點も生じ従つて其弊も生ずるに至つて六ヶ敷く併し重要なるもの先生の懇切にして平易なる此の御講演により皆様は必ず氷解せらるゝ事と信じます

2 ことも環境

東京女子専門學校教授
東京昭と保姆養成所講師

山下 俊郎先生

先生は環境と教育に關し多年深く研究せられた唯一の權威者です

一 兒童と環境との關係 (イ)無意識の裡に受くる環境の影響と子供の心に映つた環境―模倣と暗示 (ロ)その年齢的發展 (ハ)環境の種類とその分け方

二 家庭的環境 (イ)こどもの環境としての家庭の意識 (ロ)親の職業による影響(社會的地位の問題特に知識階級の問題) (ハ)兄弟の關係から來るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響

三 環境としての都會 (イ)刺戟の多面性から來るもの (ロ)一面性から來るもの (ハ)都會のこどもの特徴と缺陷

四 環境としての田舎 (イ)生活の規則性と固着性 (ロ)田舎兒童の特徴と缺陷

五 貧困兒童の環境 (イ)經濟的貧困と精神的貧困 (ロ)貧困階級の生活の特徴 (ハ)貧困兒童の特徴と缺陷

六 子供の問題の側から眺めた環境 (イ)問題の子と不良性 (ロ)問題の種類と環境の關係

3 音楽

東京音楽學校教官
東京高等音楽學校教授

武岡 鶴代先生

常にラジヲを通じて全國幼児の音楽を指導さるゝ第一人者です、こどもの歌二十五種の教へ方指導の注意唱ひ方發音の仕方等を實際に指導して下さいます、尚伴奏の付け方も之が歌詞も曲も純粹の幼稚園低學年のものですし、皆文部省檢定済のものです、尚全部を遊戯に移します、歌曲共に新しきものです

4 幼児に適したる手技

東京女子高等師範學校教諭兼保姆
及川 ふみ先生

幼稚園に適切なる手技の創作は恐らく先生をわいては他に見られませぬ文部省で開かれます手技の外に尚多くの材料を提供し指導して下さいます

5(A) 律動的表情遊戯

理論之部

幼稚園遊戯の低下と混亂時代。

革正運動の勃興。

東京昭和保姆養成所長 瑞穂幼稚園長

土川五郎先生

實際之部

文部省檢定濟の幼稚園に適切なる唱歌然も新しきもの。

二十五種を武岡先生に唱ひ方の指導を乞ひ其全部に振付けしたる遊戯の指導と練習を主とす
其外に創作したるものを加ふ

(B) 舞踊の基本練習

先生は今回新しくこどもに用ふる基本練習としての各種の根本となるべき簡易なる型を創作發表されました。これは遊戯の練習にも振付にも又選擇の見識を作る上にも重要な役目を持つてゐることを確信し先生を招請して茲に皆様に實地に指導練習を乞ひました。

舞踊家 石井 漢先生

四 區分 1、2、4 の三科目を **甲** 之部とす

3、5 の二科目を **乙** 之部とす

五 定員 各三百名

六 割引乗車券 五割引往復券

會費を添へてお申込の方へお送りいたします。七月二十日迄にお申込になりませんと間に合ひません切符購入使用期間は七月十五日より八月十四日迄

市内及近郊から省線でお通ひの方には講習中割引券を差上げます

七 會場 瑞穂幼稚園 東京市品川區大井原町五二〇八

省線大井町驛下車城南バスにて原又は水神前下車一分

八 會費 甲之部 參圓 乙之部 參圓 兼修 五圓

九 宿泊 本校寄宿舎を充用 一泊二食金壹圓貳拾錢 前以て申込を要す

主催 東京昭和保姆養成所

責任者 土川五郎

昭和十一年六月

東京市品川區大井原町五二〇八
電話 大森 二、二一〇番
振替 東京 六九二一四番

保育夏期講習會 (第八回)

本會主催の夏期講習會は毎年皆様の絶大な御援助によりまして回を重ねること早くも八回となりました。そして集まられる會員は遠くは支那、滿洲、臺灣等及び内地各府縣よりの御申込年々増加し、昨年の如きは、定員を超過すること百數十名の多きに達しそれがため會場狹隘を來し開會數日前に急ぎ會場變更の餘儀なきに至つた様な次第であります。

就ては本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を參考と致しまして理論よりも實際に重きを於いて講師も會員も一つになつてほんとうに和やかな氣分で講習會を開きたいと存じます。何卒本年も多數御誘合せの上御入會の程切にお勧めいたします。

昭和十一年六月

主催 佛教保育協會

後援 佛教各宗々務所
東京市大塚市民館

要綱

一期間 昭和十一年七月二十七日より三十一日まで五日間 (毎日午前八時より午後三時まで)

會場 東京市小石川區大塚辻町 東京市大塚市民館 (△市電、市バス—大塚辻町下車 約一丁 線—大塚驛下車 約四丁)

講師及科目

保育の實際 (二時間) 東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三氏

女性と信仰 (二時間) 立正學園高等女學校々長 馬田行啓氏

幼児の宗教心と保育 (二時間) 本會保姆養成所學監兼教授として佛教保育に立脚せる保姆養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御教示されま

す 本會保姆養成所學監兼教授として佛教保育に立脚せる保姆養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御教示されま

唱歌指導並に發聲法 (八時間)

東京音樂學校講師

梁田貞氏

毎年講習會に於てその御親切なる御教示に皆様から多大の敬慕を以て迎へられておられます先生が本年も亦出講せられて幼児に對する唱歌發聲並に指導法に就て懇切に御教示されます

遊戲指導 (九時間)

タンダバツハ舞踊研究部長

賀來琢磨氏

最近幼児の遊戲に研究を積まれ全国各地の講習會に出席せられて皆様におなじみの先生は又平素本會保姆養成所の講師として佛敎遊戲にも多大の關心を持つておられます前同に二回程出講せられて皆様から非常な期待を以て迎へられました今回又最近振付られた一般幼児遊戲讀佛歌遊戲の指導をして頂くことになつております

手技製作指導 (六時間)

本會保姆養成所講師

卜部たみ氏

幼児の手技製作に就ては不斷の努力と御研究をなさつておられる先生が最近一ケ年に考案されました手技製作の新教材について御指導されることになつております

講習員 會費 金貳圓五拾錢也

定員 東京市芝區二本榎町日蓮宗務院社會課内 佛敎保育協會夏期講習會事務所

申込期日 七月二十日迄(但し定員超過の場合には期日前に切替することがあるかも知れません)

宿泊 一泊二食付金壹圓貳拾錢にて會場附近の音羽洋裁女學院寄宿舎をお世話いたします(男子は最寄旅館)

鐵道割引 本講習に参加せらるゝ方に限り全国各地より鐵道旅客運賃往復參割引の特典が與へられます

見學 八月一日東京市内社會事業施設幼兒保育施設の見學を致します
 證書 講習終了者には修了證書を授與いたします
 時間 劃

廿七日	開會式	關	講	師	八時—九時	九時—十時	十時—十一時	十一時—十二時	十二時—一時	一時—二時	二時—三時
廿八日	馬田	同	同	同	上	上	倉橋	同	同	同	同
廿九日	梁田	同	同	同	上	上	同	同	同	同	同
三十日	梁田	同	同	同	上	上	同	同	同	同	同
三十一日	卜部	同	同	同	上	上	同	同	同	同	同
	講師	同	同	同	上	上	賀來	同	同	同	上
	師	同	同	同	上	上	講	同	同	同	上
	師	同	同	同	上	上	師	同	同	同	上
	同	同	同	同	上	上	同	同	同	同	上

詳細御不明の方は左記へ御照合下さい

東京市芝區二本榎町一丁目十五番地 日蓮宗務院社會課内

佛敎保育協會夏期講習會事務所

第七回全國保母夏季講習會

今回は空理空論を避け、幼兒保育にすぐ役立つ、實際的問題にのみについて講演せられます。

一期間 八月一日より四日迄(四日間)自午前八時至午後五時

一會場 大阪府天王寺區四天王寺西門前下車。天王寺高等女學校講堂

一科目と講師

■午 前 の 部

1 幼兒心理のすぐ役に立つ新しい實驗のお話 京都帝大 文學博士 岩井勝次郎先生

岩井博士は新らしき方途を研究して、學界の啓發に餘念なき權威者。向學にもゆる保母各位の爲め、實際的方面の新研究を發表せられます(三時間半)

2 童心の光に生きる 平安女學院教授 文學士 大塚喜一先生

保母の生活の基調は子供と俱なる生活にあることを、各、保育項目を例として述べ、項目別にあらざる渾一生活に歸せしむることに説き及ぼす(三時間)

3 幼兒の藝術と話題 ヨハネ學園長 古田誠一郎先生

古田先生は幼兒に關する放送で芳名高き方。幼兒の藝術と話題について極めて實際上の御話(三時間)

4 新童畫と原始藝術 新童畫の新研究者 宮原辰夫先生

宮原氏は大阪朝日の日曜ページをたび／＼賑つゝある新人。原始藝術より發足して幼、童畫の實際的諸問題を根本的に覆さんとする頗る興味多き講演(二時間)

5 風變の手技

東京三つ田手技研究所長 三つ田 花子先生

新しい手技の研究家の三つ田先生の新考案の手技資料を發表されます(四時間)

■ 午後 の 部

6 幼稚園の遊技會、運動會に適切なる體育ダンス及唱歌遊技(新作廿種餘)

久保舞踊研究所長 久保富次郎先生

久保先生は體育ダンス舞踊を研究すること十數年、著書六十有種、かつて歐米各國に外遊せし我國幼兒ダンス舞踊建設の第一人者であります(八時間)

7 幼稚園に適切なる教育舞踊と唱歌遊技(新作廿種餘)

大日本新遊技研究會講師 松原 幾代先生

先生は東都にあつて新興舞踊及古典舞踊を研究し、その作は、和洋を折衷し、動的に、リズムカルに按舞し、教育にして新味を帶ぶるもの、全国各地の講習會に於いて高評嘖々の新人。(八時間)

講習料 午前の部 金參圓 午後の部 金參圓 兼 修金五圓

宿泊 二食附金壹圓參拾錢にて大阪市四天王寺南門前、電車通、まつや旅館にて親切に世話す。

直接に申込れたし。

一 申 込

七月末日迄に當會に到着する様、必ず會費を添へ、午前か午後かを明にし主催者宛に書留若くは振替にて大阪七壹壹四六番に申込のこと。手技の材料の都合のためなるべく早く御申越下さい。

大阪市北區南森町森町ビル二階

主催 大日本新遊技研究會

振替口座七壹壹四六番

上澤謙二先生編著

四六判布裝美本 定價 各册二圓二十錢
函入各册四五〇頁 送料各册十四錢

新幼児ばなし二百六十五回

毎日取扱方説明つき

一つ一つ日々の話の目的と取扱方を懇切に指導！毎日聴かせて飽きさせぬ凡ゆる幼児漸の大寶庫！

*此書の中には幼児ばなしの凡ゆる種類が網羅されてゐます。自然ばなし、寓話、譬喩、教訓ばなし、祝祭日ばなし、人物ばなし、歴史ばなし、藝術的なおはなし、笑ひばなし、ナンセンスに科擧げばなし、なぜさうばなし、動植物愛のはなし、等。殊に科學ばなし、觀察ばなし、算數ばなし、感覺練習ばなし、生活ばなし等は著者創意の新しいスタイルで書かれてゐます。

幼児の觀察訓練、數の觀念、機械に對する親しみ等により、幼児に新しい社會生活の基礎を据ゑること、我國祝祭日獨特の社會行事の鮮明と生活化により國民教育の前提を作ること、人類愛動物愛、自然に對する愛等汎く愛の精神を幼児に植ゑ附けること等本書に於ては實に細心の注意と工夫が拂はれてゐます。

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一・四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一・四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一・四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一・四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・八〇 送料一・四

☆ 祝祭日お話集

長尾豊先生著 價二・〇〇 送料一・四

☆ 幼稚園の舞踊

石井小浪先生著 價〇・八〇 送料〇・八

☆ 幼稚園教育の實際

永澤義憲先生著 價一・八〇 送料一・四

☆ 幼稚園の生活圖畫指導

三森連象先生著 價二・六〇 送料一・四

☆ 子供の遊ばせ方

坂内ミツ著 價一・〇〇 送料一・四

☆ 童話と其味ひ方解説

長尾豊先生著 價二・一〇 送料一・四

☆ お話全集

(第一―第六) 長尾豊先生著 各一・〇〇 送料一・四

全四卷
春の巻 夏の巻 秋の巻 冬の巻

東京 東園書局出版

厚生閣

振替東京五九六〇〇番

本會夏期講習會

七月二十一日より六日間、文部省主催保育講習が東京女子高等師範學校に於て開催せられますから、その午後に於て左記講習を催します。

期 日 自七月二十一日 至二十五日(五日間)午後一時より四時まで

場 所 東京女子高等師範學校

講 師

一 幼兒の體育(三時間) 東京女子高等師範學校教授 佐々木 等 君

一 幼稚園に適切なる新遊戯(實習)(十二時間)

東京女子高等師範學校助教授 戸 倉 ハ ル 君

會 費 金貳圓五拾錢 (會費拂込後は御參否に不拘返戻いたしません)

宿 泊 本校寄宿舎(當構内)で女子に限り宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

費用一泊金壹圓貳拾錢(二食つき)宿泊料は御入舎の上でお支拂ひ下さい。

宿泊御希望で午前午後兩講習會に御出席の方は、文部省講習員としてお申込み下さい。(なほ敷布は各自御持參を便とします)

申 込 聽講、宿泊いづれも七月十日までに本會講習係宛(東京市小石川區大塚町

東京女子高等師範學校内日本幼稚園協會)に講習料を添へお申込み下さい。

御住所(受信所、奉職所名)必ず御明記置き願ひます。講習料のお拂込みは

振替(東京一七二六六 日本幼稚園協會)を御利用下さい。

講習料の受領證にかへ、會員證及び汽車汽船割引券を御送附します。

汽車賃五割引 (省線、社線共) 省線でお通ひの方には講習中毎日割引券を差上げます。

汽船賃三割引 (大阪商船 大連 基隆航路及近海郵船基隆航路)

割引期間 切符購入は七月十一日より八月一日迄

通用期間 乗車券發賣の日より八月十五日迄

遊戯實習の服装は、洋服或は袴着用、靴穿きを嚴守して下さい。

昭和十一年六月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

●入會お申込みの節會員證と鐵道割引券とをお送りいたします縣、市、町番地と御姓名とを振替口座又は爲替に詳細に明瞭に御記入置き下さい

新刊

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集

菊版三五〇頁

定價金壹圓五拾錢

郵稅

市內 金六錢

地方・北海道 金拾四錢

臺灣・樺太 金三拾四錢

朝鮮・滿洲(滿鐵沿線)

金四拾九錢

滿洲一般 金四拾五錢

さきに發行せられた東京女子高等師範學校附屬幼稚園編『系統的保育案の實際』は非常の歡迎を受け、既に多數の方々により研究せられ又實施せられても居ります。就いてはその中に用ゐてあります談話につき、便宜一まごめにした書物がないかこの御要求が澤山ありますので、此の談話集を編纂發行致しました。右保育案を御使用の方は素より、そうでない方にも、幼稚園談話選集として極めて御便利のものご信じます。實際御使用のために定價も普通の市價の標準を離れて、出来るだけ廉價にいたしました。本會の趣旨のあるところをお汲み取りいたゞけば幸です。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際

定價 金壹圓

送料 金四錢

- 一 保育案の實際は幼稚園必須の資料
- 一 東京女子高等師範學校附屬幼稚園現行の保育の實際は各幼稚園好箇の參考
- 一 待望の本書を全國幼稚園保姆諸君に勸む

發行所

日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町卅五番地
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

○定價及郵稅を添へ本會宛直接御註文下さい。

振替東京一七二六六番

第七回 夏季保育講習會

昨年一回休會致しました償ひに非常時に際する幼児教育に對する徹底的効果を收めて聊か貢獻致したい念願に基き保育の革新を企圖し多く人の手を染めずして併も幼児に取り重且大なる環境に關する研究音楽の低下防止と向上手技の適切なる創作遊戯の革正を目指して左記の通り講習を開きます。

一期日 七月廿七日より七月三十一日迄五日間

二期日 七月廿七日より七月三十一日迄五日間

三期日 午前八時より十二時迄 午後一時より五時迄

科目と講師

東京女子高等師範學校教授
東京昭和保护養成所講師兼顧問

倉橋 惣三先生

1 幼児の訓練

保育の中に人の性格の基礎を作る大切なる役目を有する躰方は其實施する點に幾多の疑點も生じ従つて其弊も生ずるに至つて六ヶ敷く併し重要なるもの先生の懇切にして平易なる此の御講演により皆様は必ず氷解せらるゝ事と信じます

2 こどもご環境

東京女子専門學校教授
東京昭和保护養成所講師

山下 俊郎先生

先生は環境と教育に關し多年深く研究せられた唯一の權威者です

一 兒童と環境との關係 (イ)無意識の裡に受くる環境の影響と子供の心に映つた環境―模倣と暗示 (ロ)その年齢的發展 (ハ)環境の種類とその分け方

二 家庭的環境 (イ)こどもの環境としての家庭の意識 (ロ)親の職業による影響(社會的地位の問題特に知識階級の問題) (ハ)兄弟の關係から來るもの (ニ)祖父母の影響 (ホ)近隣交友の影響

三 環境としての都會 (イ)刺戟の多面性から來るもの (ロ)一面性から來るもの (ハ)都會のこどもの特徴と缺陷

四 環境としての田舎 (イ)生活の規則性と固着性 (ロ)田舎兒童の特徴と缺陷

五 貧困兒童の環境 (イ)經濟的貧困と精神的貧困 (ロ)貧困階級の生活の特徴 (ハ)貧困兒童の特徴と缺陷

六 子供の問題の側から眺めた環境 (イ)問題の子と不良性 (ロ)問題の種類と環境の關係

3 音楽

東京音楽學校教官
東京高等音楽學校教授

武岡 鶴代先生

4 幼児に適したる手技

常にラジヲを通じて全國幼児の音楽を指導さるゝ第一人者です、こどもの歌二十五種の教へ方指導の注意唱ひ方發音の仕方等を實際に指導して下さいます、尙伴奏の付け方も之が歌詞も曲も純粹の幼稚園低學年のものですし、皆文部省檢定済のものです、尙全部を遊戯に移します、歌曲共に新しきものです

東京女子高等師範學校教諭兼保姆
及川 ふみ先生

幼稚園に適切なる手技の創作は恐らく先生をわいては他に見られませぬ文部省で開かれます手技の外に尙多くの材料を提供し指導して下さいます

5(A) 律動的表情遊戲

理論之部

幼稚園遊戲の低下と混亂時代。

革正運動の勃興。

東京昭和保姆養成所長 瑞穂幼稚園長

土川五郎先生

實際之部

文部省檢定濟の幼稚園に適切なる唱歌然も新しきもの。

二十五種を武岡先生に唱ひ方の指導を乞ひ其全部に振付けしたる遊戲の指導と練習を主とす 其外に創作したるものを加ふ

(B) 舞踊の基本練習

先生は今回新しくこどもに用ふる基本練習としての各種の根本となるべき簡易なる型を創作發表されました。これは遊戲の練習にも振付にも又選擇の見識を作る上にも重要な役目を持つてゐることを確信し先生を招請して茲に皆様に實地に指導練習を乞ひました。

舞踊家

石井

漢先生

四 區分 1、2、4 の三科目を **甲** 之部とす

3、5 の二科目を **乙** 之部とす

五 定員 各三百名

六 割引乗車券 五割引往復券

會費を添へてお申込の方へお送りいたします。七月二十日迄にお申込になりませんと間に合ひません切符購入使用期間は七月十五日より八月十四日迄

市内及近郊から省線でお通ひの方には講習中割引券を差上げます

七 會場 瑞穂幼稚園 東京市品川區大井原町五二〇八

省線大井町驛下車城南バスにて原又は水神前下車一分

八 會費 甲之部 參圓 乙之部 參圓 兼修 五圓

九 宿泊 本校寄宿舎を充用 一泊二食金壹圓貳拾錢 前以て申込を要す

主催 東京昭和保姆養成所

責任者 土川五郎

昭和十一年六月

東京市品川區大井原町五二〇八
電話 大森 二、二一〇番
振替 東京 六九二一四番

保育夏期講習會 (第八回)

本會主催の夏期講習會は毎年皆様の絶大な御援助によりまして回を重ねること早くも八回となりました。そして集まられる會員は遠くは支那、滿洲、臺灣等及び内地各府縣よりの御申込年々増加し、昨年の如きは、定員を超過すること百數十名の多きに達しそれがため會場狹隘を來し開會數日前に急ぎ會場變更の餘儀なきに至つた様な次第であります。

就ては本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を參考と致しまして理論よりも實際に重きを於いて講師も會員も一つになつてほんとうに和やかな氣分で講習會を開きたいと存じます。何卒本年も多數御誘合せの上御入會の程切にお勧めいたします。

昭和十一年六月

主催 佛教保育協會

後援 佛教各宗々務所
東京市大塚市民館

要綱

一期間 昭和十一年七月二十七日より三十一日まで五日間 (毎日午前八時より午後三時まで)

會場 東京市小石川區大塚辻町 東京市大塚市民館 (△市電、市バス—大塚辻町下車 約一丁 線—大塚驛下車 約四丁)

講師及科目

保育の實際 (二時間) 東京女子高等師範學校教授 倉橋惣三氏

女性と信仰 (二時間) 立正學園高等女學校々長 馬田行啓氏

幼児の宗教心と保育 (二時間) 本會保姆養成所學監兼教授として佛教保育に立脚せる保姆養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御教示されま

す 本會保姆養成所學監兼教授として佛教保育に立脚せる保姆養成に精進せられておられます先生が特に出講せられて御教示されま

唱歌指導並に發聲法 (八時間)

東京音樂學校講師 **梁田貞氏**

毎年講習會に於てその御親切なる御教示に皆様から多大の敬慕を以て迎へられておられます先生が本年も亦出講せられて幼兒に對する唱歌發聲並に指導法に就て懇切に御教示されます

遊戲指導 (九時間)

タンダバツハ舞踊研究部長 **賀來琢磨氏**

最近幼兒の遊戲に研究を積まれ全国各地の講習會に出席せられて皆様におなじみの先生は又平素本會保姆養成所の講師として佛敎遊戲にも多大の關心を持つておられます前同に二回程出講せられて皆様から非常な期待を以て迎へられました今回又最近振付られた一般幼兒遊戲讀佛敎遊戲の指導をして頂くことになつております

手技製作指導 (六時間)

本會保姆養成所講師 **卜部たみ氏**

幼兒の手技製作に就ては不斷の努力と御研究をなさつておられる先生が最近一ヶ年に考案されました手技製作の新教材について御指導されることになつております

講習會費 **金貳圓五拾錢也**

定員 **貳百名** 東京市芝區二本榎町日蓮宗務院社會課内 **佛敎保育協會夏期講習會事務所**

申込期日 **七月二十日迄**(但し定員超過の場合には期日前に切ることがあるかも知れません)

宿泊 **一泊二食付金壹圓貳拾錢にて會場附近の音羽洋裁女學院寄宿舎をお世話いたします(男子は最寄旅館)**

鐵道割引 **本講習に参加せらるゝ方に限り全国各地より鐵道旅客運賃往復參割引の特典が與へられます**

見學 **八月一日東京市内社會事業施設幼兒保育施設の見學を致します**

證書 **講習終了者には修了證書を授與いたします**

廿七日	開會式	關	講	師	八時—九時	九時—十時	十時—十一時	十一時—十二時	十二時—一時	一時—二時	二時—三時
廿八日	馬田	同	同	同	上	上	倉橋	同	同	同	同
廿九日	梁田	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同
三十日	梁田	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同
三十一日	卜部	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同
	講師	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同
	師	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同
	同	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同
	同	同	同	同	上	上	上	同	同	同	同

詳細御不明の方は左記へ御照合下さい

東京市芝區二本榎町一丁目十五番地 日蓮宗務院社會課内

佛敎保育協會夏期講習會事務所

第七回全國保母夏季講習會

今回は空理空論を避け、幼兒保育にすぐ役立つ、實際的問題にのみについて講演せられます。

一期間 八月一日より四日迄(四日間)自午前八時至午後五時

一會場 大阪府天王寺區四天王寺西門前下車。天王寺高等女學校講堂

一科目と講師

■午 前 の 部

1 幼兒心理のすぐ役に立つ新しい實驗のお話 京都帝大 文學博士 岩井勝次郎先生

岩井博士は新らしき方途を研究して、學界の啓發に餘念なき權威者。向學にもゆる保母各位の爲め、實際的方面の新研究を發表せられます(三時間半)

2 童心の光に生きる 平安女學院教授 文學士 大塚喜一先生

保母の生活の基調は子供と俱なる生活にあることを、各、保育項目を例として述べ、項目別にあらざる渾一生活に歸せしむることに説き及ぼす(三時間)

3 幼兒の藝術と話題 ヨハネ學園長 古田誠一郎先生

古田先生は幼兒に關する放送で芳名高き方。幼兒の藝術と話題について極めて實際上の御話(三時間)

4 新童畫と原始藝術 新童畫の新研究者 宮原辰夫先生

宮原氏は大阪朝日の日曜ページをたび／＼賑つゝある新人。原始藝術より發足して幼、童畫の實際的諸問題を根本的に覆さんとする頗る興味多き講演(二時間)

5 風變の手技

東京三つ田手技研究所長 三つ田花子先生

新しい手技の研究家の三つ田先生の新考案の手技資料を發表されます(四時間)

■ 午後 の 部

6 幼稚園の遊技會、運動會に適切なる體育ダンス及唱歌遊技(新作廿種餘)

久保舞踊研究所長 久保富次郎先生

久保先生は體育ダンス舞踊を研究すること十數年、著書六十有種、かつて歐米各國に外遊せし我國幼兒ダンス舞踊建設の第一人者であります(八時間)

7 幼稚園に適切なる教育舞踊と唱歌遊技(新作廿種餘)

大日本新遊技研究會講師 松原幾代先生

先生は東都にあつて新興舞踊及古典舞踊を研究し、その作は、和洋を折衷し、動的に、リズムカルに按舞し、教育にして新味を帶ぶるもの、全国各地の講習會に於いて高評嘖々の新人。(八時間)

講習料 午前の部 金參圓 午後の部 金參圓 兼 修金五圓

宿泊 二食附金壹圓參拾錢にて大阪市四天王寺南門前、電車通、まつや旅館にて親切に世話す。

直接に申込れたし。

一 申込

七月末日迄に當會に到着する様、必ず會費を添へ、午前か午後かを明にし主催者宛に書留若くは振替にて大阪七壹壹四六番に申込のこと。手技の材料の都合のためなるべく早く御申越下さい。

大阪市北區南森町森町ビル二階

主催 大日本新遊技研究會

振替口座七壹壹四六番

上澤謙二先生編著

四六判布裝美本 定價 各册二圓二十錢
函入各册四五〇頁 送料各册十四錢

新幼児ばなし二百六十五冊

毎日取扱方説明つき

一つ一つ日々の話の目的と取扱方を懇切に指導！毎日聴かせて飽きさせぬ凡ゆる幼児漸の大寶庫！

*此書の中には幼児ばなしの凡ゆる種類が網羅されてゐます。自然ばなし、寓話、譬喩、教訓ばなし、祝祭日ばなし、人物ばなし、歴史ばなし、藝術的なおはなし、笑ひばなし、ナンセンスに科擧げばなし、なぜさうばなし、動植物愛のはなし、等。殊に科學ばなし、觀察ばなし、算數ばなし、感覺練習ばなし、生活ばなし等は著者創意の新しいスタイルで書かれてゐます。

幼児の觀察訓練、數の觀念、機械に對する親しみ等により、幼児に新しい社會生活の基礎を据ゑること、我國祝祭日獨特の社會行事の鮮明と生活化により國民教育の前提を作ること、人類愛動物愛、自然に對する愛等汎く愛の精神を幼児に植ゑ附けること等本書に於ては實に細心の注意と工夫が拂はれてゐます。

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・五〇 送料一四

☆ 幼稚園に讀ませるお話

長尾豊先生著 價一・八〇 送料一四

☆ 祝祭日お話集

長尾豊先生著 價二・〇〇 送料一四

☆ 幼稚園の舞踊

石井小浪先生著 價〇・八〇 送料〇・八

☆ 幼稚園教育の實際

永澤義憲先生著 價一・八〇 送料一四

☆ 幼稚園の生活圖畫指導

三森連象先生著 價二・六〇 送料一四

☆ 子供の遊ばせ方

坂内ミツ著 價一・〇〇 送料一四

☆ 童話と其味ひ方解説

長尾豊先生著 價二・一〇 送料一四

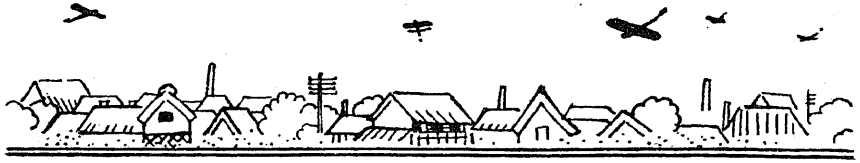
☆ お話全集

(第一―第六) 長尾豊先生著 各一・〇〇 送料一四

全四卷
春の卷 夏の卷 秋の卷 冬の卷
(分賣)

厚生閣

東京 東區 麴町 六番 振替 東京五九六〇〇番



號六第 育教の兒幼 卷六十三第

—(次 目)—

口繪	卷頭(六月)	倉橋惣三(一)
	都市の幼兒教育に對する希望	田島眞治(二)
	夏期の幼兒衛生	井口乘海(九)
	氣質に關する一二の問題	古川竹二(七)
	桃太郎の變遷	小池藤五郎(六)
	新入園兒を迎へた當時を反省して	坂内ミツ(三)
	「母のお話」	岸田秋(五)
	遊び場に於ける子供の氣持	西田希雄(四)
	夏の食堂	留岡よし子(四)
雜錄	中國四國九州保育聯盟大會狀況	(毛)
	北信五縣保育大會概要	(齒)
	系統的保育案の實際解説	(空)
	生活訓練	倉橋惣三
	誘導保育	菊池ふじの
	唱歌遊戯	村上露子の
談話		新庄よしこ
觀察		小島光子
手技		及川ふみ

長尾 豊先生著
 四六判美本函入 三百頁挿圖入 價一圓五十錢
 送料十四錢

幼児に讀んで

聴かせるお話

天才を惜しまれ
 つゝ長逝された
 わが長尾先生唯
 一の遺作集だ。
 生前聴かせるお
 話への苦難の道
 を營々として辿
 つて來られた。

● 讀んで聴かせて、すぐそれが幼児に訴へるお話を本は極めて稀だ。話し方の注意が附いてゐて誰にもやれる。

「内容の一部」
 ・春 〓 シャベルのあたま、桃色と黄色、女の子とお魚貝がらのお山、次のおみやげ、軽くなつたら、其他
 ・夏 〓 トボリトントン、熊の魚つり、シャボンの迷子芋の葉の喧嘩、三番目に、丸い小さな提燈、其他
 ・秋 〓 チョロリチョコロチョコ、おるすばん、ぶるぶる葡萄、燕の引越し、いつまでも續くお話、其他
 ・冬 〓 前とうしろ、雪のかたまり、しもやけ、暖い赤者とお帽子、お月さま、怠げ者とお白な牛、其他
 ・雜 〓 ポンパタリ、其他
 附録 〓 お話へはひる注意

幼稚園 びん・にんぎやう 長尾 豊先生著 價一・五〇送一四

幼稚園 おゆうぎ 長尾 豊先生著 價一・〇〇送一〇

幼稚園 おはなし 長尾 豊先生著 價一・五〇送一〇

幼稚園 ばなし 長尾 豊先生著 價一・八〇送一四

新幼児ばなし 三百六十五日 (春夏秋冬) 上澤謙二先生著 各二・二〇送一四

幼稚園や生活圖畫指導 三森連象先生著 價二・六〇送一四

幼稚園の舞踊 石井小浪先生著 價〇・八〇送〇八

幼稚園教育の實際 永澤義憲先生著 價一・八〇送一四

子供の遊ばせ方 坂内ミツ著 價一・〇〇送一四

立志傳の力 高信映水先生著 價一・八〇送一四

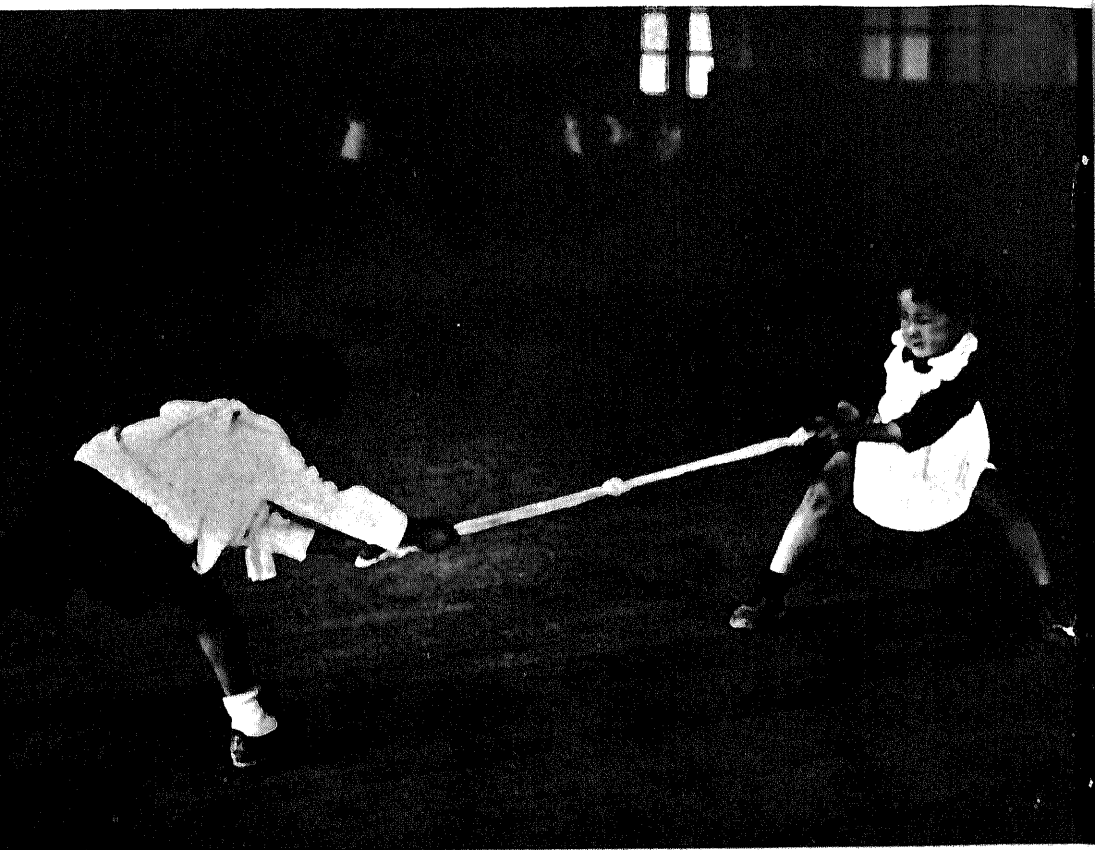
父母としての教室生活 池田小菊先生著 價二・三〇送一四

先生としてのお父さんお母さん 北崎永榮先生著 價一・〇〇送一四

先生から生きた教育實話 大谷恒郎先生著 價一・八〇送一四

東京・麹町・下六番町
 振替東京五九六〇〇番

厚生閣



氣 本

幼 児 の 教 育

昭 和 十 一 年 六 月

六 月

外には雨が降りつゞけてゐる。部屋の内は笑ひ聲で晴れわたつてゐる。窓硝子はぬれて曇つてゐるが、子ぎも達の顔はみんな明るく輝いてゐる。外からの光でなく、内からの光である。天の太陽は雲につゞまれる日があつても、こゝの小さい太陽達は、いつだつて好天氣だ。

その子ぎもらに、またしても鬱陶しそうな顔をして見せるのはおきなだ。なぜかう降るのかと、言つても仕方のないかこちごきを言つて、呟いて聞かせるのもおきなだ。——子ぎもは、知らなくてもいゝこきを、おきなから教へられるこきが屢々ある。六月の雨だつて、おきなが教へなかつたら、子ぎもには少しも苦にならないものであらう。

都市の幼児教育に對する希望

—— 日本幼稚園協會 五月講演會に於ける講演筆記 ——

東京市視學 田 島 眞 治

今日は「都市の幼児教育に對する希望」を言ふ題でお話をする様にこの事でございますが、私は只今東京市の幼稚園の中で、公立になつてゐます幼稚園を時々拜見しますが、その間に氣付いた事がありまして、こゝうゆう事は是非御願を申上度い言ふ事——謂はゞ話す言ふよりは、私の方から都市の保育に携はつてゐる方々に御願を申上度い、言ふのが今日の私の眞實の心なのでございます。

保育の大切な事は、もはや詮議立てをする必要がない程大切であります。さうして之が國家として一段々整つた法律を出さないのか云ふ心持がする位であります。義務の仕事であつても然るべきものであつて、將來は必ずさうゆう時期が来るであらうと思ひますが、之は私の保證の限りではありません。

保育に就ての理論は、倉橋先生は長年の間御研究もされ、御指導もなされて居りますので、理論の點については微に入り細に入り御承知の事と思ひます。

私は保育についての理論のお話をする言ふ事を考へては居りません。唯自分の役目として、時折五十近くの公立の幼稚園を拜見致しますので、その折々に感じた事、氣付いてゐる事、そしてそれは實施されて居る事であるので、別段今日は新しい話をしようとは考へて居らないのであります。

私は都市云ふのが子供を育てる環境としては誠に工合が悪いと思つて居る。工合が悪いと言ふ事にも種々あらうと思ひますけれども、先づ第一に希望したい事は

身體を丈夫に育てたいと言ふ事

山の手の環境ミ、下町の環境ミの間には大分の隔りがあるけれども、大都會云ふ方から見るミ、自然に親しませるのに不充分である云ふ事は同じであります。

都市の自然は、實に人間の正常な發育を阻害するに充分であります。醫者に言はせるミ六ヶ敷しい事を言ふかも知れませんが、こゝでは通俗に考へて見度いと思ひます。

幼稚園を拜見する時、砂場を廣く取つてあるのを見るミ實に愉快に思ひます。狭い地域ながらも、自然の土が現れて居り、その匂ひをかきながら子供達の遊んでるのを見るミ實に愉快であります。はだしになつて、シャベルを持つて土を掘り、又は草を植ゑたり、ぬいたりする様子は實に尊い姿だと思ひます。こゝいふ事の出来る幼稚園は大都市の中でも極く少數で、大多數はこゝはいかぬのであります。その多くは、氣持の悪い事には、幼稚園の家全體を壓する様な鐵筋コンクリートの建物が、しかも園舎の南の方に、つつ立つて御叮嚀にもゴウ／＼たるきしりを立てゝゐる、その上もつミ御叮嚀に煙を濛々ミ吹き立たせて、園舎の中にその黒煙を遠慮もなく吹きかけるミ云ふ有様で、實に情けない限りだと思ひます。四方共コンクリートの高い塀を廻らして、子供が無邪氣に見上げるミ隣の臺所や物干には、こゝに幼稚園がある事を知らぬげに、勝手に種々のものが見える、幼稚園の事を考へる都會人は誠に勤い。随分保育しにくい事と思つて保姆さんに聞くミ、泣きそうな顔をしてこぼす先生も澤山ある。都會の噪音、雑音——同じ音にしても都會の音は非常に鋭い音に聞える——電車のきしり、工場の賑やかな機械の音等、實にたまつたものぢやありません。實際の幼稚園は、實にひさしい環境の中に

あるのであります。こゝいふ中で子供達が遊ぶのですから、先生達の苦勞も並大抵ではありません。始めの間は子供達は神經をいらつかせ、すり切らせてしまふのでありますが、それが二ヶ月、一年、二年を經つ中には感じなくなつてしまふ。感じなくなるに云ふ事は、差支がないのではなくて、實に恐ろしい現象なのであります。子供自身の享けて居る自然の恵み——感じ分けるに云ふ感覺を鈍磨させるに云ふ事になるのであります。傷けられる事は莫大なものであります。

都會の生活は實に仕事が多くて、複雑で、享樂の機關が多く、種類がまた雜多であります。こゝいふ環境から受ける結果は、恐ろしいものであります。

旧舎には享樂の機關がありません。大自然を友として悠々自適、何不自由なく育つのであります。都會は生れるに直ぐからそれらを一渡り享樂する。享樂をするに今度は、前に倍した強い刺戟を欲する。強い刺戟でなければ享樂した氣持にならない。その結果として心身の疲勞すること夥しいのであります。嚴密に云ひますに、現在の社會は神經衰弱症にかゝつてゐるに斷言してもいゝのでありませう。

都會人は己れ自ら、精神が鋭くなつたに云ふ境を越えて、もう疲れ切つてゐるので、餘程強いのでなければ違つたもの様には感じない様になつてゐます。こゝいふ社會に生まれた生兒は、生み落されるに直ぐから刺戟の強い環境に育てられ、神經過敏になる、疲れ切る、疲勞がかさむ、へきへきになるに云ふ調子です。子供が遊戯をしたり、話しをしたりする様子を後から見えてゐるに、大多數の子供は餘程心身が疲勞してゐます。この事實は、都會生活者として免れない實情なのであります。

之を何さかして心身を疲勞させない様に、着眼する事が都市保育の一つであらうと思ひます。

現在の社會は、非常に複雑になつてゐるので、親も營々として自己の生活に没頭してゐます。これが子供にもひしく

感じられて、無邪氣な玉の様な子供でも、いつかはなしに親のせかしくした氣分に揉まれ、子供までもいろくの氣苦勞をします。生活上の問題、親達のいさかひ、之皆子供の氣苦勞になるのであります。子供達の氣苦勞もまた大變なものであります。

田舎の人の喧嘩は、都會の人の喧嘩と違つて大げさで、打つたり、棒で叩いたりですげ、たゞそれだけであります。都會の人ののは、目と目と睨み合ひ、男は大きい聲、女は痛高い聲で一度は急テンポで罵り合ふ、女もヒステリック、男も亦ヒステリックであります。或人が田舎の人の喧嘩は、疎漫、彪大だが、都會の人は痛烈だといつてゐるのを聞いた事がありますが、成程と思ひました。田舎の人ののは、一陣の風がさつて來る様でありますし、都會の人ののは根が残る。根が後まで残るご精神が疲勞する。之を見るご子供も亦疲勞する。快感をそゝる事にはならない。用事はあり、仕事はあり、複雑なのが都會生活。田舎の生活に比して、實に、量に於ても實に於ても大變で、時間の不足、仕事に際限なしご云ふ有様であります。朝、新聞を讀めずに夜讀むご云ふごも稀ではありますまい。

都會生活をする女性は、この複雑なる生活を改良せねばならないと思ひます。これ等から來る睡眠不足は都會生活のつきものであります。私共の生活に致しましても睡眠時間は誠に少い。こうしてお顔を見て居りましても、ゆうべの睡眠不足らしい方は二十人以上もあります。子供を育てゝる家は育てゝない家に比べるご、仕事はそれ丈多いご云ふ事になる。親の睡眠が少なければ自然子供も少くなり易い。都會の子供はもつごもつ澤山眠らせなければなりません。この子は本來神經過敏で睡眠が足りない等言ふ子が澤山にある様です。大多數の家庭は寢ろくご云つて漸くねかしつける有様です。仲々子供も寝ない工夫をするものです。何れにしても、充分によく寢て、朝元氣よく起きて來る、ご云ふ子供があるご、そのお母さんは實に偉いと思ひます、幼稚園の方から言つても睡眠不足を發見したら親ごよく相談して平和に安らか

に寝させられるならば、保姆さんの重大な役目の一つを果したと云つてもいいと思ふ。お話をしてやるとか、ピアノを弾いてやるばかりで、保育が全うされるのではありません。私は睡眠不足と云ふ事が實に氣になります。親の不足は自業自得でありませうが、せめては第二の尊い子供を無創にして育て、やり度いと思ひます。

或幼稚園で、幼児の睡眠時間の長さ、睡眠中の模様、就寝の時の状態、朝の起きる状態等を委しく調べてる所があります。こういう事は、保育と關係が無い様に思はれるけれども、實はそうではなく、こういう心掛のいゝ保姆さんは、一事が萬事、隅から隅まで行き届いて居るのであります。感服の至りだと思ひます。こういう事は今からでも結構ですからやつて頂き度いものです。

都會の文化の程度は高い、東京の文化は日本で一番高いのであります。文化は人間の幸福を高めますが、一面に又逆轉させるさいふ苦々しい部面があることに氣づかねばなりません。都會の文化の持つ一の醜惡なる事に尊い子供を浸潤させたくないものであります。

先づ、東京の公私立の幼稚園に於きましても概して文化の高い程度 of 家庭の御子さんが多い事と思ひます。上流の家庭は概して、先天的に遺傳がいゝと云へる。幼稚園によこして居る家庭は、大方知能が高い。この人達の生んだ子供が幼稚園に來てるとするに、いゝと云へる。文化人の生んだ子は概して弱い、良い家庭の子程、蓋然的に云つて身體に申分が多い。之はご馳走が多く、菓子等が過多だからであります。都會人の菓子は並大抵じゃありません。相當立派な菓子でも駄菓子としか考へないやうです。この頃の子供は口が肥えて、味覺が發達してと云へばいゝ様なものゝ實はその間に憂ふべき現象があります。子供の不平を癒やし、悲しみをいやすに菓子を以つて胡魔化したり、可愛がつて見たり、眞似をしたり、自由自在に親が弄ぶと或人は云つたが、さもあらんと思ふ。

幼稚園の身體検査の統計を見るに涙が出て來ます。こんな調子で第二の國民をしていゝのか、先暗い思に打たれる。田舎の廣々した野原で、ひゞあかぎれをきらして、野良を飛び廻つて遊んでゐる子供等は我儘を云ふ機會もなし、おいしいお菓子なごにありつく事もめつたにないが、之で實に丈夫に育ちます。

都會の子供の憂ふべき現象として、胸が長く、胸が薄い、蒙宗竹の竹筒みたいな子が多いのであります。肉付が悪くて色が青白くて足が金火箸の様。足は即ち骨で、目だけキョロ／＼してゐる。それでゐて、言ふ事は實に薄ボンヤリの大人をやつ／＼けて何々大笑するに云ふ子供がかなりあるに云ふ事は實に欺げかほしい事に思ふ。しかも腺病質で神經質で、筋肉薄弱、直に疾病にかゝりそうな身體薄弱が夥しい數であります。目が光つてゐるだけならいゝが近視眼、亂視、右で左で視力が違ふ。右左の耳が違ふ。完全な齒を持つてゐる者は殆んど無い程である。醫者は齒のいゝものを選び抜いて表彰して居る所があるが、この式はあまり名譽の事じやありません。文化の程度の高いに云ふ事に反比例して身體の方は悪いのであります。

それで幼稚園では、子供相互の作業、自然に立働いて伸び／＼遊びつゝ仕事する機會をなるべく多くするに云ふ事が、保育としては大切な事と思ふ。身體を順當に發育させ丈夫にするに云ふ事は保育の大部分の仕事だと思ふ。その他の事に力を入れて得々として居るのはいけない。やるべき事はやらねばならないが、ほんたうに伸々々充實してゆく様な土臺を幼稚園時代に作つてやる事が、大切な事だに深く感じます。幼稚園の仕事は實に六ヶ數いものであります。この仕事に従事していらつしやる方々の苦勞は並大抵じやあるまいに、つく／＼思ひます。

次に私は都會の子供の缺點を探して見ませう。代表的な缺點として、生意氣(子供不相應な)に云ふ事を擧げます。憎らしい様な茶目をやります。——純眞な茶目、あざけない茶目でなしに——美の極を通り越す醜になります。都會は文化

が高いのですが、幼年時代は素朴な、線の太い生活がいゝと思ひます、御念の入り過ぎたのよりも素朴的な取扱が寧ろ大事だと思ひます、悠悠とした生活を営ませる機會を相當に多く取り度いと思ひます。之が幼兒將來の遠大な生長を基礎つけてくれます。和氣霽々たる落ついた、なごやかな生活は人間を本然の姿に立ち返らせます。こゝにいふ境地に立たなければならぬと思ひます。禪房に參禪してゐる様な氣持、美しいメロデーに聞き入つて居る様な藝術的な感じを持たなければなりません、都會人は、恰も母親の膝に安らかに眠る様な世界が所々に挟まれなければならぬと思ひます。靜中動あり、動中靜あり、眞に伸びんミするには一應は縮まねばならない、大に動かんミすれば先づ落ついた靜けさがなければなりません。所詮活動的な子供ですから、大人の様な靜計りは勿論無理ですが、繁華な眞ん中には、我儘な、こもするミ横著な子供が居るだらうが、こゝにいふ子供を、幼稚園のすなほな生活に馴致して行く様にしむける等は、保育時間の尊い仕事であります。

最後に一口申し添へますが、それには保育に當る人自身が、保育に對して十分の憧れミ眞剣さがなければならぬと思ふ。尊い仕事に携はつて居るのだミ云ふ誇りミ自信ミを持つてやるべきだと思ふ。浮きくした、ふわくした考ではないと思ふ。事極めて重大であります。

小さい時から、敬虔的な氣持を植え付けて置くミ云ふ事が大切であります。憎らしい茶目をする心持を、敬虔的な、宗教的な氣持に浸らせるミ云ふ時間がさうしても無ければならぬと思ふ。かくして完全なる人格を形づくる素地の涵養につとめなければなりません。小伶俐な線の小さい子供、物知りげな子供を育てるさいつた保育振りに墮してはいけません。思ひます。

夏期の幼児衛生

—— 日本幼稚園協會 五月講演會に於ける講演筆記 ——

警視廳防疫課長
醫學博士 井 口 乘 海

夏の病氣と言へば胃腸病が一番多いのであります。殊に日本人はお腹一ぱいづめ込まないに承知出来ないで困るんでありますが、殊に女の人はそうなのです。

夏の胃腸病は、小さい子にまつて一等恐ろしいのは疫痢であります。そこで此代表的な疫痢の症狀や手當法、原因等をお話致しますが、その間に胃腸病全體についての豫防法や何かを自然に御理解下さる事と思ひます。

東京に於ける赤痢、疫痢の患者數は毎年非常な勢で増加致しまして、昭和元年と昭和十年と比較致しますると約五倍の増加を示してゐます。文化が進み衛生思想が發達したのにと思ひますけど、併し數が殖えたからと云つて悪い事ばかりでもないのです。警察でなんかもよく母の會と云ふのを催して、お母さん達に集つて貰つて、疫痢の症狀とか手當法などを話します。ですから子供が病氣になつた時、熱が出て、便が變だと思ひますと、直ぐお頭を冷やして、ヒマシ油を飲ませて、醫師の來診を求めるとか、或はタクシーを拾つて傳染病院に駆け込むのです。醫師が見ますと確に疫痢ですが、は入つて來たものを今更、正當の手續きを経てないから戻れと云ふわけには行かぬ、まあくゞと云つた調子で入院さしてしまふのです。病院の方から云へば駆け込み入院、病人の方から云へば飛び込み入院と云ひます。之でも分る様に今頃のお母さんには、傳染病を隠さうと云ふ氣がてんで無い、こんな事がまあ、外へ現れた數としては多くなつた原因かと思ひます。よ

警視廳管内赤痢(疫痢)患者數並死亡率

年 次	細別			
	赤痢患者數	同上の内 疫痢患者數	赤痢全體 死亡率	疫痢のみ の死亡率
昭和元年	三・二八三	一七九二	五〇・三五	七四・八三
昭和二年	六・二〇二	三二五七	四七・九四	六七・八八
昭和三年	八・二七一	四三八八	四二・二二	六三・六一
昭和四年	九・四七三	四五六四	三九・二六	六三・四五
昭和五年	一一・〇四一	五四五八	三五・七三	五七・一三
昭和六年	一〇・九四七	五二九五	三三・四二	五四・〇七
昭和七年	一一・五八三	五九〇三	三二・六九	五〇・七二
昭和八年	一五・一〇四	七〇七三	二九・五二	四八・五八
昭和九年	一四・五二七	六五四四	二五・六三	四三・三五
昭和十年	一六・九五七	七二六六	二三・〇六	四〇・三二

○%に降りました。手當が早ければ死亡率が少いのであります。

疫痢の原因は赤痢菌であります。よく赤痢のお母さんがあるま其の子供が疫痢になり、疫痢の子供を看病して赤痢になるお母さんがあります。弱い體質の子に多く、風をひき易い子、腺病質の子は、腸の粘膜も弱いので自然この病氣に罹り易い傾向を持つて居ります。割合にいゝ家庭に多いのでありますが、之は食物に氣をつけないのではなくて、弱い體質の

く小兒科の醫者達から文句を云はれます。君達あまり衛生思想を吹き込むものだから、俺達の仕事は届出だけの用事で、謂はゞ届出ブロカーみたいなものだけ。

火事は最初の五分間と言ひますが、疫痢も實にそうで、最初の手當が早ければ死亡率が少いのであります。

では此疫痢患者の發生は何月に多いかと言ふに六、七、八、九の四月即ち夏季に多く、年にして言ふに三歳がかなり多くなり四歳が一番多い、五歳が四歳より少し減つて三歳と同じ位、六、七歳は漸次減少するのであります。死亡率は昭和元年に七四%であつたのが、昨年はグーツミ減じて四

子が多い云ふ事に依るのであります。よく便秘をしたり、下痢をしたり、云ふ子に多いのであります。

誘因としては過食、食べ過ぎる云ふ事は實にいけないのであります。たゞへ消化のいゝものでも食べ過ぎは悪いのであります。それから、同じ分量でも夜寝る前さか、疲れてる時には過食になるのであります。時々場合によつて過食になつたり、ならなかつたりするのであります。

次の誘因は冷腹、世の中には上の御子さんを疫痢で亡くされた云ふのに、下の子は見るに、何にもお腹に巻かずにゐるお母さんがありますが、こちらが冷々してしまふ事がよくあります。腹巻は、フランネルなぞをお腹へぐるぐる巻いてるのが多い様ですが、夜中に見ますともう胸の方へ上つてしまつて、胸巻になつてゐます。こんなのでは却つて呼吸を妨げて害がある位のものであります。こうでなく、股でひつかゝつて上に釣り上らないズ羅斯式のものでない云、さうしてもいけません。相當に暑い時期ですから夜中に布團をはいでも大丈夫な様に、しつかり巻いてお腹の冷えない様にしておかなければいけません。それから小さい子は太股をも冷してもいけませんね、股の所で冷えきつた血液が、循環してお腹の方にいくんですから、お腹を冷すわけになります。私はよく云ふんです。太股を出していけないのは、電車や汽車の中ばかりぢやないつてね、こうやつてしつかり冷えない様にしたら、掛けるものは極く少く、そして足の跣の方を少し出しておくんです。頭から足の先きまで布團をかけられちや、子供は實際たまらないでせう、はがすには居られなくなるのでせう。

その次の誘因は、疲れ過ぎ

次に疫痢の始めの症状を申し上げます。よく私は、うき、ころころと申すんですがね、實際この病氣に罹るに始めは何だかうき／＼してゐます。そしてそつちの室へ行つてころ／＼、こつちへ来てころ／＼、何もなく平常の様子に

異なるのです。それから之は變だと思つて頭へ手を當てゝ見るに、熱い。計つて見るに三十八度いくら、見る見る中に九度、四十度と昇るのがある。便は始めは軟便が出ます。汚い例へですけご牛の糞の様なのであります。それが段々悪くなつて緑便となり、中に白いブツブツの様なものが出る様になるに之はいけなないのであります。それがもつと悪くなるに、水様便となり、粘液便となり、ひざいになるにヒキツケが來ます。實に見て居られないのであります。お母さん等は悲しんでおいしく泣かれるのであります。このヒキツケが來た時氣をつけなければならぬのは、舌を噛み切らない様にする事です。で發作が起つて來たら、さりあへずハンカチでも何でもかまはないから口の中に差し込み、その中、鉛筆なりお箸なりにガーゼの様なものを巻いて、前のハンカチを取り換へて口の中に入れておく事です、子供の便云ふものは大切なもので、毎日母親は細心の注意を以つて見る必要があります。いつも言ふのですが、子供の便は菜の花の様に黄色であつて欲しいので、菜の葉の様に綠色になつては困るのであります。

次にこの疫痢の豫防法を申し上げます。今迄のお話で大概の所は御諒解頂いた事と思ひますが

○過食をしないこと

○便通に注意すること

○買食ひ等しないのは勿論、子供の食物は細大まなく母親が親しく検査して後與へること

○腹巻をするこゝ

○日常母親の細心なる注意が肝要

そしてこの病氣に罹つたなら先づ第一に安靜が大事であります。私の知つてゐる人で、その一人つ子が、朝軟かい緑便をしたのにも拘らず、その日は日曜だったので、親子三人で井の頭公園に散歩に行きました。夕方何か食べて家へ歸

つた。ミころが夜中になつて、その子がうん／＼唸るので頭へ手を當て、見たら火の様に熱い、これは大變だミ云ふので、近所のかゝりつけのお醫者に來て貰つたら、疫痢ミ診斷され、ミても私の手には叶はないミ言はれたので、夜中でしたが直ぐ自動車で駿河臺の某小兒科の病院へ馳けつきましたが、病勢は愈々つのるばかりで、翌日の午後には亡くなつたのであります。そうでありませう。朝に綠便をしてゐるのであるから安靜にして置けばいゝのに、一日井の頭公園を引つぱり廻つたのですからミてもたまつたもんじやありません、この病氣は心臟が侵され易いのですから安靜が第一なのであります。それから

この病氣だミ思つたら直ぐに頭ミ左の胸を冷す事です。水が無いからミ云つてそのまゝ放つて置かずに、直ぐに水でも何でもかまはないから冷すのです。水道の水であんまりぬるいミ思つたら、それへ鹽なり酢なりを入れて手早く冷して、そして氷の届くのを待つのです。日本の家庭ではあまり氷々ミ云ひますが、氷が無い時は水で結構です。氷が来るまでも十分、十五分ミ經つのですから、その間に病勢がぎん／＼進んでしまひます。その次には

ヒマシ油を飲ませること

ヒマシ油は三歳の子には茶匙で三ばい、四歳の子には四匙、五歳の子には五匙ミ言ふ見當で與へるのです。ヒマシ油は多くても害になるものでありませんから、躊躇せずと與へた方がいゝミ思ひます。今云つた分量の倍位與へてもよろしい、そして腸の中にあつて、熱を出させる悪いものをミつミ體外に出させるのであります。ヒマシ油を飲ませて三、四時間位で通じます。ヒマシ油はぎろ／＼してペンシミにはつたりしますので、飲み度がありませんから砂糖水に浮かしてグット飲ませるミよろしい。コップ等の様に深いものでなく茶碗の方がミても試して見て、ヒマシ油の残りが少なくていゝ様です。若しミうしても嫌がつたら、強制執行です。こゝいふ風にして頭部を高めにミして抱つこし、泣いてもかまはずに口の中へ

匙で入れるんです。するに泣きじやくりながらもいつかはなしに咽を通つてしまひます。

それから注意しなければならぬのは、これは變だと思つたり、出来るだけの手當をして靜かに寝かして置く事で、決して醫者へなご連れて行くものではありません。折角醫者へ行つても往診中云ふので次の醫者へ行く、又留守、云つた工合で、方々連れ歩いてゐる中に、病氣が進んで、取り返しのつかない事になつてしまふ事がよくあるのです。ですから母親が側に付きつきりで靜に寝かし、最善の手當をして居て、醫者へは他の人を走らせる云ふ風にするのです。

以上は疫癘を中心としての夏の病氣に就いてお話を申上げました。

次は夏の衛生云ふ事に就いて一寸お話致しませう。

夏は子供の皮膚を丈夫にする時であります。そうして冬の感冒を豫防すべき時期でありますから、出来るだけ日光に皮膚を照さなければなりません。併しそうか云つて急にやつてはいけません。段々に少しづつ多く皮膚を出す云ふ風にしなればいけません。皮膚が丈夫になれば、冬季、風邪に罹らなくなりすし、胃腸の粘膜も丈夫になります。東京の日光は、例の紫外線云ふのが少い、所に依つては二割以上も減じてる云はれてゐます。郊外の多摩川などは完全だ云はれてゐます。で私は出来るだけ郊外にピクニックをするこをお勧めして居ります。折角行つても向かふで料理屋へなんか行つたりして飲食しては駄目です。衛生上いけないばかりでなく經濟上もいけません。ピクニックはいくげにお金がかつて、云ふ風ではいけませんから、家でおむすびを作つて持つて行くのです。こうして出来るだけ數多く行く方がいいです。

その次に食物の事に就て、偏食は絶対にいけません。都會の子はあれも嫌や、これも嫌やで偏食の子が非常に多い。さ

うかして偏食はよさせ度いものです、子供は、親の云ふ事はなか／＼きかないが、学校の先生の言ふ事はよく聞くものですから、こゝを利用して先年、東京市の公立の小学校の先生方にお願して、これの矯正を試みた事がありました、よく徹底した所も少々はありましたが、仲々うまくいかないものですね。

その次には、手を綺麗にする事、子供の手は實に汚いものです。先きに言つた疫痢でもその他の病氣でも、實に手についてゐる微菌が口からは入つて起るこゝも多いのです。ですから食事の時、おやつなごの時は必ず手を洗つてからこゝを事を習慣づけ度いものです。水でじやぶ／＼洗つただけでもいゝのですが、石鹼でよく洗へばかなりよろしい。尙ほこゝいふ消毒器（石鹼入れを利用して可）を子供に持たして食事をする前には必ず手を拭かせる様にし度いものです。この中にはアルコール又は石炭酸に浸した脱脂綿を入れて置きます。

次に、時間が迫りましたが、夏の問題として避暑の問題について簡單にお話致します。これからなるこゝよく電話で尋ねられるのですが、海へ行つたらよいか、山に行つたらよいかは問はれます。私はそういふ時は

體の弱い、神経質のお子さんには山がいゝし、元氣な、強いお子さんには海がいゝとお答へして居ります。

海に家を定める時に注意して頂き度い事は波の音の聞える所にしてはいけないと云ふ事です。さうしてかこ云ひます、波の音の聞える所は子供の神経を勞する事が多いのです。夜中でも波の音が聞えるところは、なか／＼安眠が出来ない事が多いのであります。海水浴に出掛けるのに十分位かゝつて不自由でも、家は海岸からひつ込んでゝ欲しいものです。

それから次には、いろ／＼避暑に参りましたら、一週間位の間は朝に夕によく注意して、子供の様子を見る事です。食事が進むか否か、元氣に變りはないか否か、と云ふ事なごを。

それから井戸水に注意すること。井戸は自分の借りた家の専用でなければなりません。又流しを井戸から出来る丈遠く離す云ふ事等も氣をつけなければならぬ事です。

それから泳ぐ場所を川口から遠ざける云ふ事。川口は危いばかりでなく、種々のものが流れて来るので實に不潔であります。

次には、醫者の不便な所に行つてはならない。醫者の不便な所に行つて、取り返しつかない目に遭つた人の例は、隨分澤山あります。

それから、出掛ける時には應急手當に入要な品々を持つて行く云ふ事を忘れてはいけません。例へば氷嚢とか體溫計、ヒマシ油、浣腸器、含嗽藥等を持つて行くこと。そうして醫者の来る迄に應急の手當てが出来る様にして置かなければなりません。

吉備保育會夏期講習會

今夏左記の通り岡山市に於て保育講習會が開催せられます。詳細は同市深抵幼稚園内吉備保育會事務所宛問ひ合をされたし。

期日 八月四、五、六日三日間 午前八時より午後四時まで

場所 岡山市就實高等女學校講堂

講師

幼兒教育本論

幼兒に適切なる遊戯

倉 橋 惣 三氏

戸 倉 ハ ル氏

氣質に關する一一の問題

東京女子高等師範學校教授

古川竹二

一 知能と氣質

むかしは徳育第一であつた我が國の教育も、明治になり何時の間にか、知育に傾き、殊に近年、智能検査なきが輸入されるに、一にも智能二にも智能、この兒童のIQは幾らに、智能を第一とする傾向が現はれて來た。しかし靜かに考へて見ると、智能のみがそれほど重大なものであらうか。

なるほご、學校時代には之が重んぜられる。二言目には成績成績と言ふ。何某はさうかき聽けば、彼はよく出来る言ひ、或はあまり出来ないと言ふ。中學校なごでは一番二番三席次をつけて、一番五五十番ごでは恰も人全體が五十枚かた落ちて居るかの如く思はせて居る。が一たん卒業してからの、長いそして眞の人生に於てはさうであるか。もうこゝには智能を窺ふべき資料はない。試験はない。それ故に何某は如何か、さきけば良い人ださか困つた人ださか答へる。或は我が職に就いた時、園長なり校長なりについて人から尋ねられた時、やさしさうな人さか、きついやうな人さか答へるのが常であつて、我々の園長さんは秀才のやうな人ださ答へる人は一人もないであらう。而してこの評こそ全人格に對するものであつて、智能よりも遙かに多く氣質が表はされて居るのである。

して見るに、智能は短い學校時代に關係をし、氣質は長い人生に關係を持つ云ふことになる。氣質研究の必要はこの邊からも窺はれるであらう。

二 氣質は變化するか

一八

氣質は變化するか、ミ云ふこゝは興味ある一の問題である。世に修養なるものを重く見る人は、修養によつて氣質は反對なものにもなし得るかの如く説くのであるが、果してそれは可能であるか。元來氣質ミは、人の感情意志の先天的の傾向であるミするこゝが出来る。後天的のものであれば、變へるこゝも容易であらう、が生れついたものを、生れもつかぬものに變へるこゝは、無理ではなからうか。このこゝにつき鮮かな意見を述べた學者が我が國に出て居る。荻生徂徠先生はその人である。徂徠先生はかつて、莊内侯の大夫水野氏の、氣質は變化するものなるか、ミの問に對して次の如く答へて居られる。

氣質は何ミしても變化ならぬ物にて候、米はいつ迄も米、豆はいつまでも豆にて候、只、氣質を養ひ候て其生れ得たる通りを成就いたし候が學問にて候、たミへば、米にても豆にても、その天性のまゝに實いりよく候やうにこやしを致したミ候ごこくに候。しいなにては用に立申さず候、されば、世界の爲にも、米は米にて用に立ち、豆は豆にて用に立ち申候。

米は豆にはならぬ物に候、豆は米にはならぬ物に候、宋儒の説の如く氣質を變化して、渾然中和に成り候はゞ、米ミもつかず豆ミもつかぬ物になりたきミの事に候や、それは何の用にも立申間敷候。

ミ。あの元氣のよい、信念の強い學者の、この明快な氣質不變化の説は誠に味ふべきものではないだらうか。次に私は之に疑を懐く人の爲に幾らかの説明を加へ度いミ思ふ。氣質は生れ付のもの故、之を人の身體にたミへ、如何やうにも變へ得るものである着物は、之を修養ミ云ふこゝにたミへるこゝが出来やう。併し今、如何やうにも變へ得るもの、ミ言つた着物も、生れつきである身體の高低、瘦肥に適合したものでなくてはなるまい。左様でなくては借着に見えるであらう。

修養の衣も同様である。こゝが徂徠先生の「生れ得たる通りを成就いたし候が學問にて候」云はれた意味である。一言にして表はせば「氣質上の個性に従つて修養せよ」なる、真に意味ふかき答へではないか。

三 現時の氣質研究の方法に對して

今流行の氣質の研究法は、西洋人に工夫された質問法によるものである。例へば、

貴方ハ氣難シイデスカ ハイ イ、エ

貴方ハハニカミ屋デスカ ハイ イ、エ

云つたやうな形式で答を取り、内氣な答が多かつたらその人の氣質は内氣であり、陽氣な答が多かつたら、陽氣な氣質だとする。而も、それ等の答への比を取つて、點數を以てそれを表はしたりする仕方である。

私はこの方法を見る毎に、その答へは信頼すべきものであらうかと思ふ。この形式はメンタルテストから取つたものである。併しメンタルテストに於ては、ハイ、イ、エの答へは、その一は真であり他は偽である。而して、その眞偽はすべての人に共通したものである。例へば、

兄弟ガ三人アリ、皆一人ノ妹ヲ持テ居マス。ソシタラ皆デ六人ニナルワケデスネ ハイ イ、エ

右の答へが「ハイ」ではなくて「イ、エ」であることは萬人に通じた點である。しかるに、前記氣質検査に掲げられた問題の答としては、「ハイ」であつても「イ、エ」であつても間違ひではない。眞の氣質を答へたか否かは知らず、答としては何れも成立つものである。

併し今一步をゆづつて、學生等を被験者として之を行つた場合、言ひ換へれば、研究云ふこと以外、何の利害もなかつた場合には、此の方法によつて概ね正しい答が得られるであらう。が私たちの求むるものは、左様な机上に得た所の、

外面だけが整つたものではない。かやうなものは、一たん職業選擇なきの場合に應用される時、何等の信頼性もなくなつて支舞ふであらう。例へば、保険の外交員を選擇場合に、その希望者には「貴方ハハニカミ屋デスカ」に「ハイ」を答へる者は少からう。

それでは、人の氣質を知るには如何にすべきか、言へば、それは智能検査のやうに簡單には出来ない、ミだけははつきり云へる。そして可能な方法としては、

一 よく觀察すること

二 照し合すべき鏡を求めること

右の外にはないであらう。

四 よく觀察すること

聖人孔子は、「其の以てする所を視、其の由る所を觀、其の安んずる所を察すれば、人焉んぞ瘦かさんや」、を教へた。然り、Behavioristの言を俟つまでもなく、注意深き觀察者は、人々の日常些細の行動の上にも、その氣質がにじみ出で、居るこゝを知るであらう。人に長たる人々、人をよく使ふ人たちは、人々の行動によつてその氣質性格を忖度、或は之を直覺する卓れたる眼を持つて居るに相違ない。否、一つには左様に卓れたる眼を有つが故に、人の長さもなり、人を使ふ身分もなり得たものであるとも言へやう。我々にも左様に鋭い眼が欲しいものである。殊に教育者には之が欲しいものである。

併し、我々の多くの者には、澤山の豪傑たちが己れを知る人として喜び服した西郷南洲の眼や、居ねむりの若き弟子大石良雄に、その偉大なる將來を卜した伊藤仁齋の眼が惠まれては居ない。こゝに第二のものが問題となつて來る、即ち、

注意深き觀察を以て得たる鏡はないであらうか。據り所はないであらうか。たゞひ被験者が便宜上の偽りを答へても、之に照らして之を見破る淨玻璃の鏡はないであらうか。若しもかやうなものが探し出されたらすれば、よしそれが曇りの多いものであつても、世を益すること少くはないであらう。

五 照し合すべき鏡を求めんこと

こゝにクレチユメル氏の「體格ニ性格」 Körperbau und Charakter の説の存在の意義が深くなるのである。若しこの斬新なる學説が眞なりとすれば、我々は彼の掲げたる體格を鏡として、それ等の體格者の氣質性格を如實に知り得ることになる。これは眞に我々に取ての福音に相違ない。

それはそれとして私は更に據るべきものを人の血液型に求めてすでに十年の歳月を経、研究を進むれば進むるほど、之を興味深く感じつゝある者である。次に近頃經驗した一二の事實を述べて見度いと思ふ。

「文は人なり」と云ふ。我々は子供の時分から謙讓であれど、訓へられて來た。にも拘らず、多くの人の文、特に他人の論説なきに對する批評の文なきに接する時、それ等の文の勢や態度から、その人の教養、氣品のみならず、その氣質をも窺ふことが出来るやうに思ふ。例へば、積極的、能動的な人々は、他人の論を批評する場合、内氣な受動的な人々から見るに、必要以上の強い或は烈しい言葉を使つて非難攻撃することが、しばしば見られる。私の微力な氣質論に對しても専門家や然らざる人々から多くの贊否の論を聴き、私は誠に之を光榮とするのであるが、それ等の人々、殊に非難者の論を讀む時、その感を深くすることは、その論じ方に、眞によくそれ等の論者の氣質が現はされて居ることである。私は後にそれ等の人の血液型を知つて、こゝにも亦その氣質との相關が眞によく示されて居ることを、却つて興味深く感じて居る。

又、個人の氣質は團體にも反映する。活潑な能動的な人の多いクラスは、クラスの風も活潑であり能動的であり、内氣な受動的な生徒の多いクラスは、級風も従つて左うである。今その實例を幼稚園關係の方々に求むれば、昭和十年卒業の東京女高師保育科のクラスの風は、誠に活潑であり進取的であり、卒業時の謝恩會なきは、眞に賑やかなもので、數々の餘興が次々演ぜられて盡くる所を知らず云ふ有様であつた。が本年卒業の同科の風は、つましい靜かな、寧ろ沈んだものであり、謝恩會の餘興なきも、多からず、それも賑やかなものではなかつた。かやうな相違に就ては、倉橋主事も申されて居た所であるが、それでは、この兩科の人々の血液型の分布は如何であつたか云ふに。

	O	A	B	AB	A/P	人数
十年卒	一二	六	六	〇	三・〇〇	二四
十一年卒	三	一三	四	二	〇・四七	二二

備考 A P トハ O ト B トヲ一括シテ能動型 (Active Type) A ト AB トヲ一

括シテ受動型 (Passive Type) トシ、ソノ比ヲ取リシモノ。即チ

$O+B = Active$ ノ故ニ A/P ノ値ガ、

- (一) 一・〇以上テアルホドソノ團體氣質ガ能動的。
- (二) 一・〇以下テアルホドソノ團體氣質ハ受動的。

次に、毎年四月になるに新入の生徒たちが、上級生に聴くを見て、教育實驗室に來ては血液型の實驗をせがむ。この場合早く實驗室を訪れる者は、積極進取の人が多からう云ふことは、誰もが想像する所であらう。

若し左様であるならば、先に來る者には受動型者は少く、能動型である O や B が多い筈である。果して然るか、之を確

即ち、活潑であつた十年卒のクラスには能動型である所の O 型者ニ B 型者ミが、他よりも遙かに多く、従つて A/P (之を私は團體性指數ニ名づく) が三・〇〇になつて居り、大いに能動的であるに對して、十一年卒のクラスは、指數が僅かに〇・四七に過ぎない。このクラスが大人しく、受動的であつた理由が、鮮明にこゝに現はれて居る言へるであらう。

むる爲に私は、昨年度の女高師(東京)の文科と理科の入學者につき、二日目までに實驗室に來た生徒たちを控へて置き、之を全級の生徒と比較した所、次のものを得たのであつた。

文 科		理 科	
全級生徒	〇	全級生徒	〇
二日目までの人	八	二日目までの人	七
	一〇		三
	一〇		四
	AB		四
	二		五

如何と云ふに。

文 科		理 科	
全級生徒	〇	全級生徒	〇
二日目までの人	四	二日目までの人	七
	三		三
	七		四
	AB		四
	二		五

即ち〇型者は八名中その半数。B型者にあつては一〇名中七名までは二日目までに實驗して居る、に對し、受働型であるA型者は一〇名中僅かに三名が實驗して居るに過ぎない。AB型者は外面B型的である人が多いので三名中二名が濟んで居る。次に理科は

この場合にも文科の場合と全く同じく、能働型である〇型とB型とは二日目までにその大部分が實驗を終えて居るに對し、A型者は一〇名中僅かに三名來りしに過ぎない。「刺戟ニ對シテ直チニ反應スル」氣質を有するB型者が殊に早い者に多いことは、眞に意義

ある事實ではないであらうか。

更に今一つ例を加へるならば、次のことがある。凡そ試験ミさへ言へば學生は緊張するが、その試験の際に學生たちの氣質が窺へるやうである。それは答案の出し方の早さ遅さである。答案を書き終るミサッサミ出して教室を出て行く者ミ、書き終つては居るが容易に出さうミしない人ミがある。私はこの態度は氣質の現はれの一であるミ思ふのであるが、若し左様であるならば、それ等の人々の血液型の比較は又一の意義を有するミ考へたので、私の關係して居るクラスに就て之を調査した所、次の結果を得た。次表は一〇四名から成つて居るクラスであるが、「早く出した方から」ミ「遅く出した方

から「三七名つゝ」を採つたものである。七名とした理由は、早い方の七番目に、A型者が出たので、遅い方のも七番目までを採て見たのである。

		順位
早い方から	B	1
	AB	2
	B	3
	O	4
	AB	5
遅い方から	A	6
	A	7

て居る。更に私は二〇名乃至三三名より成れる八個のクラスに就き同様のこゝを調査して見た。この場合にはクラスの人

	一二	O
早い方	一三	A
	一四	B
	六	AB
	四五	計
遅い方	二七	
	九	
	四	
	四五	

数が少いので、五名つゝを採り合計四〇名を得た。然る所雙方共に二名づつの血液型が調査洩れこなつて居たので血液型の明かなる者は三八名こなつた。之に前記の七名を加へて四五名つゝを得たので、之を先づ實數によつて示すこゝの如くである。

更に考察に便ならしむる爲に、百分率にして之を示すこゝの如くである。

	二六・七	O
早い方	二八・九	A
	三一・一	B
	一三・三	AB
	四五	人數
遅い方	六〇・〇	
	二〇・〇	
	八・九	
	四五	

上を見るに「早い方」の組に於ては、私が能働型と稱して居る所のO型者、B型者、が、「遅い方」の組よりも遙かに多數で各々一〇パーセント以上の差を示して居る。而して「遅い方」の組に於ては、A型者は「早い方」の組の二倍以上こなつて居る。AB型

者は「早い方」の組に於て多くなつて居るが、之はB型者に通じる所があるこゝは前にも述べた如くである。

更に、右表を本として團體性指數(A・P)を計出して見るに次表を得る。

	A・P
早イ方	一・三七
遅イ方	〇・四五

即ち、「早イ方」の指數が一・三七で明かに Active であるに反し、「遅イ方」に於ては、僅かに〇・四五にすぎず、前者に比して遙かに受動的であることを物語つて居る。

なほこゝに一言加へて置き度いことは、讀者のうちには、「早イ方」は兎に角として「遅イ方」の生徒等は或は不勉強者ではなかつたか、ミ考へる人もあるかも知れない、ミ思つたので、それ等の人の成績を調査して見たのであるが、特記すべき優劣はなかつた。

以上に掲げた諸現象は、心身相關せる種々の作業に於て、人の行動ミその氣質ミの間には、深き關係が存するその事例になりはしないかと思ふ。

六 結 び

始めにも述べたやうに、氣質の研究は智能の研究なきよりも遙かに困難である。たゞ單純な内省を求めたゞけでその人の氣質を知り得たりミすることは、甚だしく早計である。宜しく諸種の方面より吟味檢證を遂げなくてはならない。觀察にあたつてもたゞ皮膚に留まつては眞の氣質を捕捉することは出来ない。例へば、幼児が駄々をこねてなかく手におへないことがある。泣き叫んで困り果つることがある。之だけを見れば如何にも剛情でキカメ氣の子供のやうに見える。併しかやうな子供のうちに却つて内氣な *hides* な氣質の子供があること屢々經驗する。

それで如何かするミ學校の先生にも、兒童たちの、眞の氣質が容易に分つて貰へないことがある。子を知る親に如かず、ミはよくも云つたものである。更に、氣質を照合する鏡の一ミしてクレチュメル氏の説を一言したが、血液型氣質説も亦今一つのものミなりはしないかミひそかに思ふ。

桃太郎の變遷

東京高等學校教授

小池藤五郎

二六

(一)

伸び行く日本の子供たちに一番愛され、永遠に永劫に若い日本を育て上げ、國民の精神生活に深い關係のある國民童話中の桃太郎の話は、今から二百年以前においても、亦三百年の昔にあつても、或は約五百年以前のこの説話の發生當時においても、今日と同じ筋で語られたであらうか。

桃太郎の話の起原に就いては昔から色々研究され、多くの説が行はれてゐる。遠い過去の神話傳説に附會する學者、或は廣く諸外國に類話を求める行き方、又は手近い文獻、木曾川の流域や四國邊の海岸等の如くに地名の類似や口碑を辿る方法、又それ々の土地に口碑になつてゐる話の探索など、學者の倦まざる努力の蹟は誠に尊い。

併しながらかゝる研究の多くは、現在行はれてゐる桃太郎の話が殆どその儘に過去の時代にも、否々、發生の當時に於てさへも語られてゐた如くに考へて、其の間の變遷を無視してゐる。果してその點の顧慮を必要としないであらうか。

貞享・元祿から享保・寶曆へかけて出版された近世文學史中、當時行はれてゐたと思はれる口碑説話を、其のまゝ書いて子供たちに與へたらしい文獻が認められる。これ等は行成表紙本・赤本・ひな本・黒本・青本などと呼ばれる物の内の或種の文獻であつて、後年に江戸に榮えた所謂江戸文學の萌芽でもあり、庶民教育の準教材材といふ教育的の意味もあり、いづれにしても價値のある文獻である。これ等の内に記されてゐる桃太郎の説話は、この話の起原、發生へ溯る事からも、亦變遷を知る上からも貴重な史料であるが、全く研究者は觸れる事がなく、約百四十年も後に書かれた「燕石雜志」などの記

事を金科玉條の如くに見てゐる。元祿頃の桃太郎の話は一體ぎんな筋であつたらうか。それは「桃太郎昔語り」に言ふ珍しい赤本に次の様に記されてゐる。

子供が五人で火鉢を圍んで桃太郎の話をしてゐる。お爺さんは山へ草刈に行き、夕方歸つて来る。お婆さんは川へ洗濯に行き、流れて来た大きな桃を拾つて歸る。夫婦はこの桃をたべて三十歳位の若さになり、お婆さんは男の子を産み、桃太郎と名を付ける。この子は成長するにつれて大變な力持で、父母に「さう圍子」を作つて貰ひ、鬼ヶ島へ寶物を取りに行く。途中で犬・猿・雉に出會ひ、圍子を與へてお供にする。鬼ヶ島の城門を打破つて鬼の大將を組敷き、鬼共に寶物を出させる。桃太郎は打出の小槌・隱蓑・隱笠などの寶物を持つてたゞ一人で家に歸つて来る。烏帽子狩衣姿の父、搔取姿の母の前で、長上下姿の桃太郎が打出の小槌で金銀を打出す。

これは今から約二百二十年位前の文獻と思はれる。この省略された梗概を見ても

一 子供が桃太郎の話をする體裁である。

二 爺は山へ草刈に行く。

三 桃太郎は桃から生れず、桃を食つて若くなつた母から生れてゐる。

四 鬼から寶物を取つて歸り、金銀を打出し、豊かな暮しをする處に話の力點がある。

五 犬・猿・雉がお供をするは鬼ヶ島まで、それからは全く桃太郎のみになる。

六 圍子は「さう圍子」である。

等の諸點が眼に付く。桃太郎の話で猿はいつも剽輕者に取扱はれ、「さるこは難所」は途中の道の險しい時の洒落、「いらさるおれこの腕だて」は猿が鬼と格闘の際の洒落である。

「桃太郎昔話」より約二十年位前に出版されたミ推定し得る文獻に、「桃太郎話」ミいふ珍しい書物がある。これは三人の子供が若殿様を慰める爲に桃太郎の昔話をする筋である。「桃太郎昔話」はこの話をやゝ詳しく記したもので、桃太郎は面白い「なまこ」ある點は、當時の子供の間に桃太郎が非常に人氣が有つた證據であらう。

吾人が知り得た桃太郎の話の中で、纏つた物としては「桃太郎話」が最も古い。上述の二説話は極めて近く、これを吾人は第一系統の桃太郎の説話と呼ぶ。

次に第二系統の桃太郎の説話と呼ぶものがある。第一系統の話が何時しか少しく變化して一系統の説話となつたもので、その代表的の文獻は式亭三馬珍藏本「もゝ太郎」であらう。

昔々お爺さんは山へ柴蒔りにお婆さんは川へ洗濯に行く。美しい桃が流れて來たのをお婆さんは拾ひ、二人で喰べる。ミ忽ち若くなり、一人の男子を産み、桃太郎ミ名附ける。桃太郎は大力であつて、父母に願つて日本一の黍園子をしてしらへて貰ひ、鬼ヶ島へ行く。途中で、犬・猿・雉に團子を與へてお供にする。桃太郎は鬼ヶ島の城門を打破り、鬼の大將を組敷き、寶物の隱蓑・隱笠・打出の小槌・延命袋・美しい布の巻物なまを取つて歸る。

この第二系統の話の記された文獻は多くあるが、兎に角説話其の物は現代に接近してゐる。これは二百十四年前の享保八年頃には確に話されてゐたらしい。貞享・元祿から享保にかけて、桃太郎の話は段々變化し、元祿以前の古い話には特に「桃太郎昔話」・「桃太郎昔話」の如く、「昔話」・「昔話」等の言葉が添へられたものらしい。

第一系統の話が第二系統の話に移るミ、こんな點が違つて來たかミ言ふに

一 話の始に子供達が桃太郎の昔話をするミ言ふ部分が無くなつてゐる。

二 「草刈」が、「柴刈」に變り、「ミウ團子」が、「日本一の黍團子」になつてゐる。

三 桃太郎は寶物を持つて家に歸るだけで、家へ歸つてから金銀を打出して榮えた様は記されてゐない。

の三點が最も大きな部分であらう。よしや第二系統の話が今日行はれてゐる桃太郎の話にかなり接近したにしても、其最も重大な話根、桃から生れたさいふ點が全く現れてゐない。否々、寶曆以前に記録された文獻には、桃から生れたさいふ記事は未だ見えず、桃太郎の誕生は「列仙傳」の「西王母傳説」に據り、若かへつて産む事になつてゐる。桃から生れる植物胎生の信仰が、文化程度の低い時代のもの故、桃から生れたさいふする方が古いとするは、此説話の特殊性を顧慮せずに演繹的の論法を應用したのみで、説話の發生した時代をも、亦上述の諸文獻をも無視した論であらう。

流れて來た桃は一個である。一個では割つて食はなくてはならない。こゝに植物胎生の思想が内面からは倫理的の支持、外面からは桃その物が分娩に伴ふ形態上の類似に支持されて、後も後、享保以後に入り來つたものである。夫婦で一個宛食ふ考へから、桃が二個流れて來たさいふ話も現れてゐる。

(三)

桃太郎の名を單に「太郎」のみ記す文獻もある。紋上の如く桃太郎と桃との關係は間接である故、「太郎」でも差支はない筈である。始めは單に「團子」であつたらしいが、後に「ミウ團子」になり、更に後に「日本一の黍團子」になつたらしい。元祿頃は團子を縁で貫いて數珠の如くして腰に付けたが、後には袋に入れて腰に下げる事に變つて行く。

桃太郎が鬼ヶ島へ向つて出發するは、鬼の殘虐な行爲を懲らす目的ではなく「保元物語」の「爲朝鬼ヶ島に渡る事」や「お伽草子」の「一寸法師」などに見える鬼が寶物を所藏するさいふ思想に據り、その寶物を得て物質的に満足の生活を翹望してゐる。かゝる點は時の整理を経ない古説話ほゞ明瞭になつてゐる、その反對に後年の話ほゞ倫理化されてゐる。

桃太郎の話は室町時代の初期から中期頃に發生したらしく、當時の不景氣、海外發展、倭寇貿易家ワカウなごに關した特殊の實際的な話が核心となり、時代の童話的氛圍氣により、何時しか斯うした英雄譚の基礎を作つたものと考へられる。犬・猿・雉の禽獸説話の部分なごも同様の過程を持つであらう。これは單に想像説ではない。寶曆元年か同二年に出版した文獻「桃太郎物語」は、當時の作者の桃太郎に對する見解であつて、前述の諸點を奇しくも暗示してゐる。鬼ヶ島鬼門説の如きは、後年に曲亭馬琴なごの附會の説に過ぎない。安永頃の物と思はれる黒表紙の「びゝな本」の「桃太郎」を見るに、話の始の方が次の様になつてゐる。

お婆さんが洗濯に行き、桃が一つ流れて來たので拾つて食べたたら大變に旨い。今一つ流れて來い、お爺さんにも食べさせたいと思つて待つてゐるに、又一つ流れて來た。お婆さんはこの桃を家に持つて歸り、お爺さんが草刈から歸つて來たので喰べさせようとするに、桃の中から男の子が生れた。

僅な始の部分だけでも、お婆さんが桃を一つ喰べた所には古い形、即ち西王母傳説の痕跡が現れ、桃から男子が生れる部分には新變化が鮮明に認められる。安永・天明・寛政に桃太郎の話はいよく現代化してゐる。それと共に、これが文學的に取扱はれ、多くの脚色も加へられてゐる。前に述べた話は、勿論説話其のまゝの記録と思はれる文獻に據つたもので、特に文學的に構成された物には觸れる事を避けたつもりである。現在語られてゐる桃太郎の話、國定教科書に採られてゐる説話なごは、よく兒童の心理に合してゐる上に、教育的道德的であつて、誠に立派な話である。之は決して一人の手、或は數人の力で整理され完成されて今日に至つたものではなく、日本國民が國民精神が、親としての不斷の教育的態度が、いつしか説話を變化して斯くも完成せしめたものである。其一々の説話を吟味する時、痛切に此點が感じられる。夫は單に桃太郎の話のみではなく、他の國民童話に於てもほとんども同様である。(東京朝日新聞四月十四日掲載)

新入園児を迎へた當時を反省して

大和郷幼稚園 坂 内 め ツ

見ず知らずのお子さん達に願書一枚が御縁で先生と呼ばれ園児となり、食事の世話から遊ばせる事、さてはおしもの世話までもするといふのは奇しき縁と思ひます。入園式の前の晩まで「どうか素直なよい子供の來てくれますやう」

にこ禱つて居るのも無理ない事でございます、親さんにとつてはかけ換のない大事なお子さんを預るのですから、保育の上にしつかりした主義方針がなくてはならぬと思ひます。細かい處まで考へるに其幼稚園の設立の性質、位置環境、幼児數、幼稚園の廣さ、先生の數に年齢によりて異なるべきものと思ひます、今日の狀態ではそれが多種多様過ぎるのではないかこさへ思はれます。しかし煎じ詰めて見れば主義方針には一貫した所が見られる筈であります、今日方々の幼稚園の様子を窺つた所ではまだ、研究の餘地があるのではないかと思ひます。私は今大膽に新入児を迎へ

る時の事を書いて皆様の御批評を仰ぎ、來年に備へたいとぞんじます。

方針を建てるに於いて次の事を考へました

イ こゝは東京の真中である。

邸が廣いといつても見るお庭、造られたお庭で、自由勝手に駆けまはられる庭のある家は少いのであります、又自分の邸は廣くとも一步町に出れば家と家が重なり合つてゐるやう、道を歩けば自動車、電車、自轉車とひつきりなしに身邊に迫るので、身を護るのに神経を尖らしてしまひます、せめて幼稚園に居る間は大きな保護の下に抱擁されて安心して思う存分遊ばせ度いものであります、この一事だけでも幼稚園は子供にとつて樂園であります、見る庭はななくとも、高價な草花は少くとも思うがまゝに駆けまはられる庭は廣く持ち度いものであります。

□ 家庭に居る時と同じ氣持で樂ユツクに遊ばせ度い

學校ミいへば何か改まり四角ばらねばならぬ處のやうに考へてる親さん方は、幼稚園も學校ミ同じやうに思つて、行儀よくなさい、言葉つかひに氣をつけなさい、口やかましく注意して幼稚園に送り出す風がありますので、無邪氣なお子さんに上下を着せてしまひ自發活動を妨げられ赤裸々な發表をしなくなり、此の考へ方を改めて貰うには入園の日に父兄によく話をしてこつた考への間違つて居る事を悟つて貰はねばなりません、家庭に在つて母親にねだる代りに先生にねだり、遠慮なく要求を發表して貰ふのでなければ、如何に鋭敏な先生でも大勢の子供の要求を洞察して機先を制すわけには参りません、けれども初めの日から打解けられるものではありません、先生がそんなにニコニコして迎へても子供は變な顔をして額でにらんで居るのは當然の事です、それを氣にする必要はありません、二日三日を経つ内にはなつて参ります、子供の性質によつては一ヶ月経つてもむつこして懐かない人もあります、親さんが之を見て氣を揉みますが、あせる必要はありません、二ヶ

月三ヶ月の後になれば一人残らず先生の子になりきつてしまひます、その日一日こなつて來る愛らしさを見るに保姆は止められなくなり、大人でも知らない人ばかりの處に行つて馴れくしく交際が出来るものではありません、まして家庭より外に出た事のない子供さんに急に親しみなさいと急ぐわけには参りません、又先生の方に誠意がないなご詰るのは無理も甚だしい事です、根氣よく時期を待つべきだと思ひます。

ハ いつもく樂しくきは行かすも嫌ふ思はさせ度くない。

友達ミいひ争をしても面白くない、欲しい玩具を持たれなくとも嫌な思をする、朝おそく登園してもきまりが悪い、お箸を忘れてもいやである、まして思う事を先生が察してくれないと猶面白くない、大勢が集つて生活して居れば家庭に在る時よりも嫌な思ひをする條件が澤山あります、氣の弱い身體の弱いお子さんには一層多いわけであり、其氣持を洞察して面白くないと思はせる前に氣を換へさせる事は餘程氣を配つて居ないと出來ない事でありま

す、以上の事を考へるに入園當時の取扱はさうしても規律的、一齊的でなくやり度いものですが、大勢の新入兒に勝手氣まゝな振舞をされても仕末の出来ない事になります。

其程度については毎年々々悩まされる所であります。

ニ 大事に育てられてるお子さん達だ

大事に育てられたお子さんは一般に身體が弱く活動量に乏しい、日光浴が足りない。

依頼心が強く人を使ひつけて居る。

氣が弱く子供同志の交際が出来ない、それ故健康第一にして日光浴を充分にさせねばなりません、外庭で遊ぶ時間を長くする必要があります、外に出さぬ事を名譽に心得てる人は、大人を相手にばかりして室内の小さい遊びが多いので、自發的に遊ぶ事を知らないばかりでなく、これから来る性質上の缺點も少くありません、これを矯正して行くにも幼稚園に來たから急になほす事は出来ません、早く其子供の長所や短所を見出して徐々に矯正すべきであります。こうした缺點は在園の時だけでは容易に効果がありません、家庭に協力して行かねばなりません、子供を通して

家庭の考へ方も改めて貰うには幼稚園の實際を見て貰うに限り、單に其子供だけをよく教育するばかりでなく家庭を教育して行く社會的な仕事も幼稚園の使命の一つかと思ひます。家族の方は元より女中さん書生さんお守さんに至るまで幼稚園を見せてやる事は其人の爲めに仕合だと思ひます、けれども多くの大人にぞろ々うろついて居られる事は子供の爲めによくありませんので、其邊の制限の仕方を如何にすべきか一考を要すべき事でもあります。

ホ よい小學校に入學させ度い願つてる親さん達だ

よい小學校、悪い小學校といふ言葉は凡そ意味のない事であり、東京には小學校の数が多過ぎるので特殊の小學校が幾つもあるので選り好みをするのも已を得ないと思ひます、私共は大事なお子さんをお預りした以上は心身ともに年齢相當に發達させる事に注意する事が必要で入學檢定のあるなしは問題にすべきではありません、思考力、理解力、想像力、創作力、觀察力、比較力、注意力の深さ、持續力、感覺練習、數觀念の養成等につき如何なる時に如何なる材料によつて進めるべきであるか計劃を立て、はじ

めねばなりません、殊に一年保育は入つたと思つて愉快にして居るにももう検定が近づきましたから相談に來られるやうな状態で、一ヶ年は實に忙はしいのですが、子供は少しも怒がなく遊ぶ事ばかりを仕事にして居るのですから困つてしまひます、せめて先生は今させて居るものゝ目的をはつきりして自信をもつてやらねばなりません、歌を一つ歌はせるにしてもリズムや調子に力を入れるか、この歌は美的情操を養ふに最もよい材料だと思つたらすぐ黑板に書いてうたの意味を味はせる、今日は發表の下手な子供に唱歌によつて發表の練習をしようと思へるなごうたを一つ歌はせるにもうかつには出來ません。

以上の諸點に氣をつけて取扱つて行けば、さうしても自發的に遊べる時間を長くして遊べない子供を指導するといふ事になります、一日中計劃的に遊ぶ子供はありません、何時間でも遊ばせて置けば遊んで居ますが一つ事はさう長くつゞきません、次ぎからくゞわけもなく泳いで居る子供が多いのです、さうしてもしつくり落ちついて指導を受けるべき時が必要です、この時に子供を觀察し比較し心

意の發達を進めて行かねばなりません、誰でもそれを實行して居るのではありますが、其割合を如何にすべきかに迷うのであります。實例を一つ二つ擧げて見ませう。

A 氣の弱い女の兒、何んでも獨りでは出來ないと思つてるので手技なごはじまるミワツミ泣き出す、附添が一寸側をはなれたら大聲で喚く、兄弟以外に友達ミは遊んだ事がないので誘はれても仲間にはいり得ない、依頼心は強いが、おべんさうの後片づけはきちんミ出來るしたゞ弱いばかりではない、長い内にはきつミ手にはいると思ひましたので、特に附添をつけて置いて決して歸らぬミ安心させて、特に附添をつけて置いて決して決して歸らぬミ安心させて、手技の時には泣き出さない先に、側にいつてやるやうにして決して無理をせず、家庭ミ幼稚園ミ根氣比べをしました、幾度も曲折があつて匙を投げやうミした事もありました、が、四十日の後完全に手にはいりました。友達ミ遊ぶ事が面白くなり、先生にもよくなつき、顔色がすつかり變つて朗かな子供になりました。

B 満三歳の幼兒です、から無理もありませんが、入園二三日の間は母親の袂からはなれず一寸見えなくても泣き、

ご飯の時こいふまで大泣です、其度に先生が抱へて機嫌を直させました、五日目から全く別人のやうに泣かない朗かな手のかゝらぬお子さんになりました。

C 入園の日にわん／＼泣いて母親の居る附添入室に駆けもぎつて来ては、「幼稚園はいやだ、こんな處いやだ、早く歸りませう」と泣き叫びます、それを先生が無理に連れていつて一日過ぎさせられたが、時々泣き聲が聞えるので母親も泣かんばかりの辛さで見込みがないと諦めて居ます、翌日からハタミ泣かず面白く遊び出しました。

D 先生の子供になり切る迄は一切任せきり、泣いても母親には顔を出して貰ひません、これを第一日から實行します。

E 入園の日からキチンと時間割通りに實行させ、勝手な行動を許さず嚴肅さを味はせます、初め緩かにすれば中途でしめても効果がありません。

これはいろんな園の例ですが、何れにしても幼稚園は一人で一組を受持つ事は無理であります、殊に入園當初は一人ではさうしても手がまはりません、一組の幼児数はやゝ

多くとも一組を二人づつで受持つて居ます、一人だつたらさうなるか冷汗をかく事が度々あります。

文部省主催保育講習會

本年の文部省主催保育講習會は、東京に於て開かれる由であります。詳細は追て六月末日の官報にて發表の筈でございます。

期日 七月二十一日より 二十六日迄 (六日間)

自 午前八時 至 正午

場所 東京女子高等師範學校

講師

一 保育案 (六時間) 倉橋 惣三

一 幼児觀察指導の實際 (五時間) 堀 七藏

一 幼児圖書指導の實際 (六時間) 山形 寛

一 幼稚園の手技 (六時間) 及川 ふみ

申込期日にお遅れないやう、又その手續きをお間違ひなきやう、豫め御注意いたしておきます。

「母のお話」

岸 田 秋

三六

八歳になる長女は「實際にあつたお話の方がいゝ」と注文する。七歳の次女は「小人や王女様のお話の出てるお伽噺がおもしろい」といふ。毎日せがまれて、この母の貧弱な「話の囊」はよく急を告げるのである。

いつも感じることだが、昔から永い年月を経て、幾代もの子供に親生まれ、忘れられずに遺つてきた童話は、いろいろの意味で、必ずそれだけの價値をもつてゐる。しかし、何としてもそれ等はその時代の道德觀で書かれ、また語られてゐる。封建的なものゝ考へ方が支配してゐる空氣のなかで世俗的に決められた善行とか、悪行とか、褒められるべきこと、貶されるべきことは、相當吟味しなほさないこと、そのまゝ現代の良心の基準にはなり得ないものがあると思ふ。極く自然な人間性に根ざした新しい倫理を、識らず知らずのうちに植ゑつけてやるやうなお話、さういふもの

を、現代の母親は第一に求めてゐるのではなからうか。

佛の文豪アナトール・フランス（一八四四—一九二四）の作品に、ピエル・ノジュール・ミいふ短篇集がある。これは多分作者自身らしいピエル・ノジュール・ミいふ人間が、その幼年期から少年期への生活を追想的に書いたもので、全篇清しい香氣に充ちた作であるが、その中に、「母の話」といふ題目で、彼が幼い頃母から聞かされた話が幾つか載つてゐる。母が子供の繪本を土臺にして話して聞かせる即興的な、殆んご筋らしい筋もない素朴な小話ばかりであるが、その一つ一つが、子供の中にある欲求、疑問、不安なきを、いかにもやさしく見つめ、取上げてゐる點、子供の讀物としても面白いし、大人にも、子供に何か話してやる場合の心組について、いろいろ教へられるところが多く、興味深いと思ふ。「母の話」の第一は「學校」といふ題の話である。

ジャンセーニュ嬢さいふ先生の學校ミその小さな生徒達を
描いてみせる。

「ジャンセーニュ先生の生徒達はみんなおまなしくて勉強家です、小さな人達がじつにお行儀よくしてゐるころは、見てゐてこんな氣持のいゝところはありませぬね。

恰度、それだけの數の小さな瓶が竝んでゐてジャンセーニュ先生が學問さいふ葡萄酒を注ぎ込んでいらつしやるさひたい位です」

こんな風の話し方である。

「ローズ・ブノワ、十二から、四つ引いたらいくつ残りますか？」

『四つ』ミ、ローズ・ブノワは答へます。

ジャンセーニュ先生はこの答へに満足なさいません。

『では、エムリーヌ・カベル、十二から四つ引けば、いくつ残りますか？』

『八つ！』ミ、エムリーヌ・カベルは答へます。

ローズ・ブノワは黙つてそれからそれへミ考へに耽ります。ジャンセーニュ先生の所に八つ残つてゐるミ云はれ

た、しかし、それが八つの帽子だか、八つの手巾だか、それミも八つの林檎か、八つのパンか、この女の子にはまだ判りません。そこミところがはつきりしないので、

頭を悩ましてゐるうちに随分時間が経ちました。」

エムリーヌは算術の時間がよく出来たので、いゝお點を貰ふ。學校がひけて來るミ、彼女はそれを母に報告し、さてそれから訊くのである。

「いゝお點で、何んな得トクになるの、お母さん？」

するミ母は答へる。

「いゝお點さいふものは何の得トクになるさいふやうなものぢやありません。そのためにこそ、貰つて自慢になるのです。一番貴い御褒美つていふものは、名譽を興へるだけで、利益なんかのつかないものなのです」

こゝで作者が母親によつて小さい者達に注ぎ入れてゐるこの考へは、あの十六世紀の哲人モンテーニュが彼の隨想錄の中に書いた。

「若し、單に名譽的であるべき褒賞に、それミは別の利得財寶等を混するならば、この混淆は、この褒賞に重きを加

へず、却て、之を卑くする。蓋し、徳は純粹に徳のための褒賞、利益よりも光榮ある褒賞を欲するからである云々。こいふ思想を傳へたものであらう。封建制度の中に住んでゐたこの哲人の、周圍さはおよそかけ離れた「物の見方、考へ方」は、鋭い知性の洗練を経てゐるだけに、幾世紀距つた今、私達の云ひたい事をすばり云つてゐる。

やはり「母の話」の中に、「大きいものゝ過ち」こいふものがある。五人の子供達が、美しい國道を通つて友達の家へ行く途すがらの小さな出來事を語つてゐる。母はまづ、子供に「道」こいふものへの感謝を訓へる。「——道はまるで川のやうに平らできれいで、車の輪や、靴の底をしつかり、氣持よく支へてくれます。これはわたし達のお祖父様方が作つて下さつたものゝ中でも一番立派なものです。このお祖父様方はお亡くなりになつた後にお名前は遺つてゐません。わたし達は、たゞそのお祖父様方がいろ／＼い／＼こころをして下さつたこいふことを知つてゐるだけです。ほん／＼うに有難いものですね、道つていふものは。さうでせう、道があるお蔭で、方々の土地に出來るものがさんさんわた

し達のところへ運ばれて來ますし、お友達同志も、らくに往つたり來たりするこころが出來ます」

五人の仲間のうち一人は他の者達より年が少く、大へん小さい。大きい者達は、この小さい子の傍を決して離れないこころや、傍道をしないこいふ約束で出かけた。しかし、だん／＼大きい子供たちはそれを忘れて先へ先へ行くので、小さい子は後にのこされ泣きさうになりながら走つて行く。母は此處で次のやうな言葉を挿んでおく。

「大きい者達が待つてやればい／＼のに、こあなた方は云ふでせう。自分たちの歩き方をエチューヌの足に合せてやればよいのに、云ふでせう。殘念ながら、それはこの子たちにしてみれば、大變な徳行を要求されるこころです。その點で、この子供は大人達と同じこころなのです。前へ、この世の強い者は申します。そして弱い者を後にのこして行くのです。ですが、まあ話の終を待つて下さい」

大きい子たちは突然、おもしろいものを見つけて立ち停る。蛙が跳んでゐたのである。四人も夢中になつてそれを追ひかけ、草原の中へ入つて行く。

「おや、もう草原の中へは入りました。やがて、厚く茂つた草を養つてゐる柔く肥えた土に足がめり込むのを子供たちは感じます。もう五六歩も行くに膝まで泥に埋りますね。草が沼地をかくしてゐるのです。」

やつこの思ひで足を抜きます。靴も、靴下も、ふくらはぎも真黒です。云ひつけを守らない四人の者に泥のゲートルをはかせたのは、緑の草原のニンフでせう」

この時、小さい子は息を切らせながら四人に追ひつく。ゲートルをはかされた四人の者はしほく／＼後へ引き返す。

「だつて考へても御覽なさい、かういふ恰好で、友達の方々に會ひに行けますか。四人がお家へ歸つたなら、お母さん達は、四人の脚を見て子供たちが悪いこゝをしたこゝをちやん／＼お読みになるでせうね。反対に小さなエチエヌの清淨無垢なこゝはその薔薇色のふくらはぎの上に後光のやうにか／＼やいてゐるでせう」

子供の心の糧になる「お話」を考へてゐるたさき、かうい

ふ作品を讀んだこゝは大變うれしいこゝだつた。この「母のお話」は一部昨年出た小國民文庫に載つた。ビエル・ノチエールの全部の譯は「昔がたり」こゝいふ名でやはり昨年岩波から出てゐる。

口繪参照

五月の或る日思ひついた遊び。外に出られない雨の日は、精一ばい力一ばいを、折柄盛んな相撲に託し、隨時隨所に取組みが始る。時にはコツンと痛い目にもあふ。させたこともあるし、泣かせたくもなしと。そこで有り合せの紐で引つぱりつこを試して見たところ、意外な喜び方。我れも／＼と女の子迄はいつて来る。見てゐながら氣がついたことは、紐は丈夫なこと、長さは五尺位、合圖で始める約束等、最も大事なことは、同じ位の體力の子を選ぶこと。戸外でも勿論いゝ。雨の日には腰掛を一寸かたづければ、たとへ狭い室内でも十分に遊べる。口繪の眞剣な二人のすがたを見て頂きたい。

遊びの場に於ける子供の氣持

西 田 彦 雄

この小論は S. Siosberg (獨) の「遊びの場と眞劍の場に於ける代償の力學に就いて」の追證で、帝大心理科二年の特殊演習の實驗報告である。

被験者 東京女子高等師範學校附屬幼稚園園兒

實驗時日 自昭和十年十一月二十一日至昭和十一年三月

十二日

實驗をなすに當り、始終御懇篤な御指導を賜つた倉橋、千輪、相良、及び附屬幼稚園の諸先生方に深謝の意を表します。又被験者の方々にも衷心より感謝致します。

序。子供が、眞劍な場、又は、遊びの場に居る事によつて、代償物を與へた場合、行動に何等かの相異がありそうに思へる。又子供の精神發達の程度(年齢)によつても、本質的な相異が代償に對する行動に現はれそうである。こゝうした子供の行動を觀察し、それを手掛りとして子供の

世界の何等かの解明の道が拓かれなだらうかを考へる。

實驗 I 眞劍な場 (Ernstsituation)

——發達した場 (Entwickelsituation)

發達した場は次の如く未發達の場と對するものである。チョコレートをおげませうかと言ふのみで實際は喰べさせない場合よりも、實際にチョコレートを喰べる方が、子供に於て、より強い現實性を持つてゐるを考へられる。それ故チョコレートを實際に喰べ、現實性の強い場面を發達した場と呼ぶ。

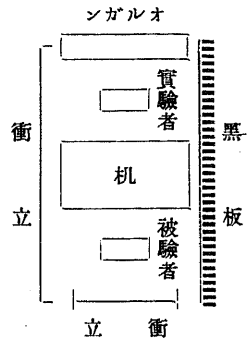
a 實驗方法

もこの物——チョコレート

代償物——チョコレートに畫用紙を卷いて焦茶色の

色鉛筆で塗つたもの。かなり、もこの

物に似てゐるらしい。



実験者と被験者

シは机を隔て、對座する。被験者の氣持を出來得る限り自由にしようとする。努力する。

果物、菓子等の好惡を尋ねて遂に、「チヨコレートはお好きですか」「ご質問、好きです」「ご答へた場合にのみ實驗を行ふ。

チヨコレートを與へ、子供が少し喰べ始めた時に、「そのチヨコレートを机の上に置いて下さい。代りのをあげますから。」「ご言つてチヨコレートを机の上に置いて貰らひ、チヨコレートのはいつてゐるた同じ袋から代償物を取出して與へる。

b 實驗結果

①全拒絶——紙のチヨコレートを厭だご言つて机の上

へ置くか、黙つてじつと持つてゐる場合である。即ち代償物が代償として取扱は

れない場合である。

例。伸子さん(五年十ヶ月)

代償物を袋から取出して手渡すに、すぐ勢よく机の上に放り出して、「チヨコレートぢやありませんよ。紙ですよ。」「ご言ふ。」「どうして?」「ご問ふに、」字が書いてないから。」「ご答へる。

實驗者がチヨコレートのはいつてゐるた同じ袋から取出した事、實驗者がチヨコレートですご言つて手渡した事、今まで本當のチヨコレートを喰べてゐたので未だ喰べたいといふ氣持が残つてゐる事、代償物がチヨコレートにかなり似てゐる事、實驗者と被験者との間には何程かの信頼關係が存する事等、以上の様な條件が相寄つて渡された代償物が、チヨコレートであらうといふ心構へが出來てゐるであらうと思へる。そうした心構へに抗つて、紙のチヨコレートだご観破し得るのは、精神發達程度の高い人々か、又はチヨコレートに強い執著を持ち續けた人々であらう。

兎も角、全拒絶の行動は明瞭に現實面に於ける出來事である。

大きい子供(平均六年二月)

40%

小さい子供(平均五年二月)

10%

②厚紙としての取扱ひ

チヨコレートとしては拒絶されたのであるが、厚紙として取扱はれる事によつて代償物は何程かの代償性を得るのである。

例。シゲヨさん(五年六月)

代償物を手渡すヨ「お家へもつて歸るヨ言ふ。」それは喰べられますかヨ「問ふヨ、」喰べられないヨ「言ふ。」ヨ「うしてヨ尋ねるヨ紙でヨしらへてあるからヨ答へる。」中には？ヨ「言ふヨ」解らないヨ「言ふ。」最初あなたにあげた時チヨコレートだヨ思ひましたか？「いゝえ」ではさうしてお家へもつて歸るヨ言つたのですか「玩具にしようヨ思つて。」ヨ「言ふ。」

チヨコレートを喰べるヨいふ事は諦めて、代償物を何等かの意味で認めやうとする行動である。この場合も代償物をチヨコレートに見做さない點では全拒絶ヨ同様であるが、その拒絶の程度が弱いのである。子供はこの場合も尚

現實面に留つてゐるヨ考へられる。

大きい子供

0%

小さい子供

20%

③試みにチヨコレートとして受取る。

與へられた代償物がチヨコレートだヨ思つてゐる又は思はうヨ欲する場合である。前者は與へられた代償物その物がチヨコレートだヨ思ふのであつて、口の中へ入れて噛む様な事が起る。後者は畫用紙の中にチヨコレートがはいつてゐるヨ想像する場合で、畫用紙を剥がうヨする。

この場面は①②に比して何程か現實性の低い想像の世界であるヨ言へる。そしてこの場面に屬するのは、現實ヨ非現實ヨの分化度の低い人達ヨ共に、分化度が高く容易に想像の世界に移り得る人達ヨであらう。前者は口の中へ入れて噛む様な行動ヨなり、後者は剥がうヨする行動ヨなるのである。

例。瑛士君(五年九月)

代償物を手渡すヨ、「これ何だ」ヨ言ひながら噛む。『堅

いね』。と言ふが尙嘯む。今度は折らうとするが折れない。又嘯む。こうした事を二度も四度も繰返へすが遂には紙を剥ぎ始める。

千津子さん(六年七月)

代償物を手渡すにすぐ紙を剥ぎ始めるので止める。するに折つてみる、『軟かい』と言ふ。『チヨコレートがはいつてるかしら』と言ひながら首をかしげる。

大きい子供——50%(0%) 50%)

口の中へ入れた者。剥がうとした者。

小さい子供——70%(50%) 20%)

④後で何かにしようと思つて自ら慰む。

例。幸太郎君(六年六月)

代償物を與へるに『何だチヨコレートではない』と言ふ。『チヨコレートだよ』と言ふに、『そうだ。貰つてくよ』と言つてポケットに入れ椅子から立ち上つて出て行かうとするが、立ち留つて實驗者を見てゐる。椅子に腰掛けさす。『さうしてチヨコレートだよ』と問ふに、『茶色だから』そして『チヨコレートの皮だ』と言ふ。

この場合も同様現實程度の低い場面であらう。想像の世界において慾望の満足を見出さうとするのである。

大きい子供——10%

小さい子供——0%

實驗Ⅱ。眞剣な場——未發達の場。

(Unentwickeltesituation)

a 實驗方法。

實驗Ⅰと同様であるがチヨコレートを實際には喰べさせないで、『チヨコレート』をあげませうか』このみ言つて、代償物を與へるのである。

b 實驗結果。

①全拒絶。

實際にチヨコレートは喰べてゐないのであるからチヨコレートの現實性は低いであらう。それ故チヨコレートを喰べる場面から出て、容易に代償物を代償して取扱ふ場面へ移るであらうと想像される。従つて代償物を拒絶する様な事は稀であらう。

大きい子供——20% (實驗Ⅰ) 40%
 小さい子供——18% 10%

②厚紙としての取扱ひ。

大きい子供——13%
 小さい子供——9%

③試みにチヨコレートとして受取る。

大きい子供——60% (口の中へ入れた者) 13%
 剥がうとした者——47%

小さい子供——73% (口の中へ入れた者) 94%
 剥がうとした者——9%

實驗Ⅰ、Ⅱの場合共通に小さい子供は代償物を口へ入れて何度も何度も噛んで噛み破る程であるのは實に印象的で見ている者の心を痛ましめるのである。

④チヨコレートと呼びながら厚紙として取扱ふ。

例。福郎君(六年七月)

代償物をじつと見てゐる。「チヨコレートだらう」と言ふふうなづく。「チヨコレートですか?」と言ふ。「ちよこだ」と言ふ。「喰べられますか?」を問ふ。「喰べられない。」

玩具だもの』と答へる。そして『皮をむけば喰べられる』中には何がはいつてゐますか?』知らぬ』と矛盾する。

『チヨコレートだ』と言ふのは現實に於ける出来事であらう。併し同時にチヨコレートであつて欲しいといつた欲望の世界も窺へるのである。現實と非現實とが模糊として搖らいでゐるのであらう。

大きい子供——70% 小さい子供——0%

實驗Ⅱ 眞剣な場——未發達の場

實驗Ⅱに於いては、大きい子供と小さい子供との相違が明瞭でないが、これは本質的に明瞭でないのか、チヨコレートの代りに鉄を用ひて實驗をした。

a 實驗方法。

もこの物——鉄

代償物——厚紙の鉄

被験者の氣持を自由にして置いて、色紙を渡し、「これで花でも模様でも何でもよいのですが、切つて呉れますか?」と頼み、「切りませう。」と被験者が言つたなら、代償物の鉄を出して被験者に手渡す。

b 實驗結果。

①全拒絶。——大きい子供85% 小さい子供100%

例。鳩子さん(六年三月)

代償物の厚紙の鋏を手渡さうとするが手にとらないので、机の上に置く。じつと眺めてゐるのみで手に取らない。色紙を折るのに妙に苦勞する。一枚目のを黴苦茶にする。二枚目も辛うじて折つて「手で切つてみてよいか」
と言ふので「よろしい」
と言ふ。「二枚目のをこの鋏(厚紙)で切つて下さい」
と言ふが黙つてゐる。「この鋏では切れないの?」
と尋ねると「さうだ」
とこうなつく。本當の鋏を取出して渡す。これなら切れる。とすぐ紙を折つて切る。

伸子さん(六年一月)

厚紙の鋏を手渡す。紙ですよ。切れません。と言つて勢よく机の上へ放り出す。他の人達は一枚か二枚切れば止めたのであつたが、伸子さんは六枚も『折つてもいゝ?』と問ねては折つたり切つたりした。
意志の問題に關聯がありそうである。

②試みに代償さして受取る。

大きい子供85% 小さい子供90%

切れるかも知れないと思つてゐるらしい。大きい子供は切れぬ事が解る。とすぐ止めるが、小さい子供は何度も何度も切つてみる。さうしても切れないのだといふ事になか／＼解らないのである。これはチヨコレートの場合の口の中へ入れて噛むのと同様な行動形式であらう。何度も何度も切らう。と試みた場合は大きい子供100%に對して小さい子供は80%である。

例。信子さん(六年七月)

切らうとするが切れない。實驗者の顔を見て『切れない』と大きな聲で言つたかと思ふ。色紙も鋏も机の上へ投り出してしまつた。「何故切れないの?」
と問ふと『ボール紙だから』
と言ふ。

珠子さん(五年)

何度も何度も切らう。と努力するが切れない。又何度も何度も切らうとするが切れない。遂に『切れません』
と言つて机の上に置く。「さうして切れないの?」
と問ふと『解らぬ』
と答へる。(未完)

眞 剣 な 場

實 験 種 類	被 験 者 数	年 齢	對 象 物					も 同 じ の 取 扱 と ひ
			全 拒 絶	厚 取 扱 と は じ れ て る	試 飲 に 代 換 せ る	チ ョ コ 呼 ぶ	後 で 何 か ら 慰 ゃ る	
I チヨコプレート (發達した場)	10	*4;10-5:9 平均 5;2	※10	20	70	0	0	0
	10	5;10-6;7 平均 6;2	40	0	50	0	10	0
平 均	20	5; 8	25	10	60	0	5	0
II チヨコプレート (未發達の場)	11	5; 0-5;9 平均 5;5	18	9	73	0	0	0
	15	5; 8-6;9 平均 6;3	20	13	60	7	0	0
平 均	26	5;11	19	11	68	3	0	0
II 錠 (未發達の場)	10	5; 0-5;8 平均 5;5	10	0	90	0	0	0
	11	5;11-6;9 平均 6;4	45	0	55	0	0	0
平 均	21	5;10	31	0	73	0	0	0

* 4;10 は4年10月 5;9 は5年9月以下これに準ず ※ 10, 20, 等の数字は凡て%が略されてゐるのである

夏の食堂

文華高等女學校附屬幼稚園 留岡 よし子

「暑くなつた。晝前に家へ歸つて毎日ゴロゴロしてゐられ
ても困る」

「今年は割合に涼しい。七月だからさいつて涼しいのに何
も早く歸すにも及ぶまい」

「家は庭も狭いし、歸ればお菓子くみやかましいし、暑
さに向つてお腹でもこわされては困る」

聲なき聲が胸に聞える。

かうしたお母様方の氣持は即私共自分達の氣持でもあ
る。

「小學生ミ違ひまして園兒に於きましては六ヶしい勉強
をするのではないのでありますから、夏であるからさいつ
て晝前に歸す必要はないのであります」

「炎天の許に晒される幼兒を、むしろ相當の設備ある園舎

に保護すべきである」

こんな言葉も聞いた様な、讀んだ様な氣がする。いや他
人の言葉ではない。これも矢張自分のもの、様である。

「お辨當なくなるの、つまらないわ」

「お辨當なしぢやいやだあ」

これはまたハッキリ心に響く叫びである。ねえ！本當
ね！園兒の叫び即保姆の叫び。

七月が近附くを毎年、暑いにつけ、涼しいにつけ、一應、
さうしたものが、考へる。

規則は季候に依りて定む。ミしてあるが、「お辨當なし」
にしたくない。つまらなからう。いやだらう。そして保護
すべきであらうし、必要はないのでありませうし、困る、
困るでもあらうし……。

昭和五年四月に開園した當園では、最初の年も七月二十日まで、つまり夏休みになるまでお辨當あり、この年は相當暑く、お辨當の蓋を取つて、むれない様にしたと覚えてゐる。

翌六年の七月は、雨々々で涼しかつたので矢張り二十日まで辨當持參。翌十年の七月は雨は少かつたがあまり暑くはなかつた。やはり二十日までお辨當。八年、九年、同様。

そして昨十年の七月、近づくにつれ仲々暑いらしい。

「お辨當もいゝが、くさる心配があるので」

「暑くなるミパンが殖える。」

一方「家の子供は玉葱が嫌ひ、人蔘が嫌ひ胡瓜が嫌ひ、朝から晩まで卵でなければご申しまして……」

「私共では、パンお菓子〜でさつぱり御米といふものが頂けませんで……」

「宅の子供はお肉もお魚も好みませんで」

等々、常に聞いている。偏食の害は、こゝに繰返すまでもない。

子供會で年二三回、又有志の「夏の集」で二夏（休中希望の

者丈、十五日間、幼稚園へ遊びに來た）お辨當を作つた經驗から、子供等が同じものを、我々の手から受取つて、一緒に食卓に就く喜びのそれ程大きいものがこいふこいはよく解つてゐる。また「嫌ひだつた人蔘が頂ける様になりました」「胡瓜が大好きになりました」こいふ事も實際にあつた。

たゞ、多勢のお辨當を幼稚園として責任を以て作るこいふここの氣重さよ、この氣重さが、目に耳に残る「食堂！うれしい！」に打負かされて、そして色々の理由が、べいだのべいだのこくつ附いて、昨年は幼稚園として子供等の所謂「食堂を開業してもよいと考へた。

食堂開業、ここちらの腹は定つた。

期間 七月一日の月曜日から土曜日をぬいて十二日の金曜日まで十回。

費用 一食十錢。

十日分前納。但前日申出れば缺席の分返金のこいふ。

「お辨當なら有合せのもので間に合ふのに毎日十錢つゝ

は不経済だ」といふ事にもなる。「まあ長い間ではなし結局一圓のこみだから子供も喜ぶこみだし……」こいふ事にもなる。「十錢として頂ければ世話なしで、安心で大助り」こいふ事にもなる。「二十錢でも三十錢でもいゝからなるべく、おいしいものを」五十錢でも一圓でも苦しくない。せめて玉葱丈でも頂ける様にして……」

「だから中々先生もお骨が折れませう」こ誰方が云つて下さつたつけ。

獸立原案

月 1 8 日 五目壽司とせんべい
火 2 9 ハヤシライスとパン
水 3 10 お萩又はお握りせんべい
木 4 11 親子丼とビスケット
金 5 12 サンドウキツチと果物の甘煮

作る場所、園内小使室の炊事場。

當園の構造は、小使室保母室保育室(二部屋)遊戯室の順に一列に並んでゐる。

炊事場は約三坪の細長い混泥土、續く六疊の疊敷が配膳

室に使はれるこみになる。

作る人は先生と小使。

これはごちらも二夏凡と同じ獸立で經驗済(最初は全部自分で造り覚えて貰つたもの)

助手として有志のお母様。

器具類は釜、鍋、皿、さじ。

女學校割烹用の借用。

で家庭の負擔は愛兒の口に入る分丈の費用。

かうした案を六月半のある日、母の會役員會で發表して是非やつて貰ひたいこいふ事になり、希望の有無を問合せた所多くは賛成。

七月になるこ東京を離れるもの、自家製以外の飲食は絶體にさせないこいふもの等あり、結局希望者四十四名。希望しないものは、辨當持參、食事に歸宅、何れも隨意。

食堂の準備。

もこゝ「食堂」こいふ名は、子供會の食事の時、机を壁側にボックス型に並べて一輪さしを置いたら、食堂だ!

こ誰かゞいつたので食堂々々賑かな事になつた。

如何にこの名に魅力あることよ。

部屋の都合で一同が顔を見合せる様に席が取れないし、皆の期待にも背かぬ様、机をボックス型に並べる。真中の方は八人づゝのグループになる。

買出し。材料は前日夕方現金買。肉豆腐等は當日朝。全部當日早朝に買へるこよいと思ふが、早朝には賣つてゐないものもあるし、また、前夕仕入れて置いて、當日早朝から調理しない間に合はない。市場、女學校出入の店で買ふ。

調理、先生は交代に、小使の小母さんは腕利きで綺麗好き。

味は薄いめ。甘いめ。煮物は軟かめの心得。

食器、直徑二十三糎位の丸皿ミコーヒースじ、箸、湯呑は各々持参のこい。

七月一日 月 五日壽司させんべい

一人分約七錢五厘。調味料は別。

米 三升五合(一人約七合半)

、一、一九

卵 十四個(三人一個)

、四〇

油揚 十枚

、三〇

糸莖菌 二束

五〇

人蔘

、一四

乾瓢

、一〇

蓮根

、二〇

隠元

、一五

せんべい

、一〇

調味料

計

、四〇

醬油

一升

、五五

砂糖

一斤

、二四

鹽

、一〇

味の素

、一〇五

酢

三合

、二一

計

、二、一五

この取合せは「ビタミンAB」「カロリー」「蛋白、脂肪」等細く科學的に割出したものではない。さいつて考へないのでもないが、子供の好みと時季の材料、甘い辛い取合せ、見た目の感じ、それに費用の點、器具の點、調理の時間の點、等からこつといふ所に落付いたもの。

また分量も一人當の分量から割出し、都合のよい丈求めるので、こゝでは便宜上、米、三升五合、酢三合、卵十四個、さいふ事になる。

調理（簡単に記す）

米 軟かめに炊く。甘酢、鹽少々

油揚、絲蒟蒻、乾瓢は砂糖醬油で味付け御飯の中へ交ぜる。

蓮根 白煮甘酢

隠元 鹽うで

人蔘 鹽 砂糖

卵 鹽 砂糖 蒲焼

盛合せ。

中皿に壽司御飯を軽く盛り（お代り隨意）白、綠、赤、黄、を上からかける中々綺麗。これに海苔の黒があれば、色も味も申分なけれぬ、費用に申分あれば致し方なし。

さあ出来た。「今ね、こてもおいしいものを持つて来ますよ。」いふ方もニコニコ。聞く方もニコニコ。エプロン掛けで運ぶ方もニコニコ。先生が女中さんになつた喜ぶ。

揃ふまで待ち切れない様子が本當に可愛らしい。今直ぐだからさいつても、せめては……さいはん許りにおさじをなめる。

早く〜さおさじでお皿をた〜く。「なめないで、た〜かないで」さいへば今度は脚をコツ〜く。さもかくぢつ〜してゐられるものかさいふ様子。この一瞬トキこゝ價千金。

「お待遠様。頂きますせう。」「頂きます〜」。暫時、靜

やがて「おいしいよ」「ほつぺたが落ちさうだ、抑へて食べ

様」「僕大好きだ、先生お代り」「するいよ二はいなんか」「大丈夫ですよ、あなたにも何ばいでも上げますよ」「ようし百ばい食べ様」

また賑かなこゝ。

それから小皿におせんべい五枚づつ。小さいのに一枚食べるとバスケツトにしまふ。

「もう澤山?」「マアチャンのおみやげ」「さぞマアチャンお喜びでしたせう。

二日 火 ハヤシライスミバン

一人約七錢七厘

調理、盛合せ。

糯米、米鹽味に炊く。

餡のを三個、黄粉一個、胡麻一個。

胡瓜 矢張り香のもの代り。

「お萩だよく、僕大好きさいふのもあれば、黙つて餡を落して中味丈食べてゐるのもある。

「まあお手間のかゝる事で、」汗ダクの先生や小使さんをおふいで下さるお母様。

「先生明日何？」「親子井」「素敵だなあ、休んぢや駄目だよ親子だつてさ。」

四日 木 親子井ビスケット

一人約七錢五厘

米 三升五合

豚肉

卵

豆腐

キャベツ

玉葱

片栗粉

一、一九
三〇
五〇
一五
〇五
二〇
〇八

胡瓜

ビスケット

白砂糖

調理、盛合せ。

豚肉、キャベツ、玉葱を砂糖醬油で煮る、豆腐卵ミ交ぜ、

全部一緒にして片栗粉でドロリミさせる。

卵許りより豆腐を入れた方費用榮養上よし。

親子ミいつても鶏肉は使はず、井ミいつても井無ければ同じ皿、何ミか皿、さいふべきなれど親子井ミいつて置いた方がおいしさうなり。

これはお坊ちゃんお嬢さん方の御好物。

ビスケット。動物ビスケット十許り。本日はお地藏様縁日で廉賣、調理の必要なき故、この朝求める。一三見えのお母様「幼稚園で習つて来てくれミ申します」この仰せで恐縮。

五日 サンドウキツチミビワ甘煮

一人六錢六厘(今少しこゝに費用を)

パン 十二斤

一、〇〇

計 二、九七

一、〇〇
四〇
二四

ジャム 四〇

キャベツ 一〇

胡瓜 二〇

鮭罐詰 四〇

馬鈴薯 一〇

ピロ 四六

計 二、六六

調理、盛合せ。

パン始めお地藏様の御利益ですべて安い。

本日パンを使用する所以。

ジャム、堅ねりを求め、湯、砂糖でこく。

キャベツを細く刻み、いためて、鮭のほぐしたものに

れる、馬鈴薯を鹽うでにして、裏漉ししてこれに交ぜる。

胡瓜、薄く刻み鹽。

ジャムサンド 三角形 三切

鮭キャベツイモサンド 四角形 三切

胡瓜サンド 三角形 三切

バターは胡瓜に丈。少量寄贈。

ジャムサンド が一番お気に入り。

鮭を交換えてさいふ註文もあつた。

明日、明後日は食堂休み、と思ふに「まづ一息さいふ氣

がする。

八日 月 五日壽司ごまコロシ

一日に同じ

酔

九日 火 ハヤシライスごビスケット

略々二日に同じ

豚肉(二日は五〇)

メリケン粉(ドロリとさせる爲)

白砂糖

「明日は何?」「ポークライスよ」

十日 水 ポークライスミデセル

一人約七錢

米 一、一九

豚肉 四五

揚げ 三〇

糸蒭 二一

人参 一〇

二一

六〇

〇五

二四

元
 胡瓜 〇五
 〇一〇
 計 二、八〇
 四〇〇

豚肉、絲蒟蒻、揚げ、人蔘を刻み、砂糖醬油で味付け煮
 る、煮汁で御飯を炊く。(味の素を入れる)

隠元 鹽うで、刻んで上から。
 胡瓜 例の如し。

細切れ肉でもポークには違ひなし、名前はハイカラの方
 子供等樂しみ多し。

十一日 木 親子丼ミせんべい
 四日に同じ

「あゝ明日でおしまひ、つまらないなあ」
 「さあ後一日、さうぞ無事に済みます様」

十二日 金 文華ランチミキャンデー
 一人約十八錢三厘

米 一、三六
 四升
 際元 一〇
 ソーセージ 一、二〇

卵 一、一〇
 玉葱 〇五
 キヤベツ 〇五
 馬鈴薯 一〇
 人蔘 〇五
 胡瓜 一〇
 マヨネーズ 五〇
 福神漬 二〇
 キャンデー 二、五〇

計 七、三一
 五〇
 一、一〇〇

瓦斯代(見込) 四〇、一〇
 心付け 三七、〇〇

總計 三、一〇
 收入 四〇、一〇

内譯 十日間の者三七名 三七、〇〇
 日割の者 三、一〇

平均一日 四十人 四〇、一〇
 支出

最後なれば豪華版、費用内輪にして來た残りを全部この
 一日にかける、調味料、瓦斯代、心付等差引き、十等分す

るよりも、最後を飾つて、思出を華やかにしたい願ひ（但し割合が多過ぎた様に思ふ）。

調理、盛合せ。

米、普通に炊き丸型打抜き、隠元、ソーセージ少量刻んで御飯の上に。

ソーセージ、輪切、三切づゝ。

卵焼、玉葱を刻み、一寸いため、鹽少し。卵の中に交せて卵焼にする。分量も殖え、經濟榮養の點もよし、玉葱嫌ひのお子さんにもこれにはだまされ給ふなり。

キャベツ、馬鈴薯、人蔘、胡瓜等、マヨネーズでサラダ。

福神漬一つまみづゝ副える。

白飯にソーセージの薄紅、隠元の綠。卵焼の黃色、ソー

セージの紅い輪、色取々のサラダ、それに福神漬。

別の小皿に銀紙光るキャンデー。

子供等の歡聲を御想像下さい。

先づ／＼何の故障もなくホツミする。代る／＼見えたお母様方が「先生、こんなに御馳走では、アシが出ませう」を心配して下さる。

アシは出ませんが、頭の使はれること、胸の痛む事は、何卒御察し下さいませ申上げたい。

けれど、かうしてゐても、目先に浮ぶあの輝いた眼、ほころびる口許、楽しい食堂の光景。それを眺めてゐる自分の姿。一體誰が一番嬉しかったのかしら。

「夏の食堂」の結果として、お母様さよい了解の得られた事はうれしい副産物。更に一人でも二人でも、人蔘といふものも案外おいしい、玉葱もおいしく食べられる………といふことになれば、御家庭に取つても、十錢は廉い。

今年も是非「食堂」をこの事、希望者も六十名近いらしい。希望しない家庭の子供が「おいしいよ」「さうして食べたいの」こいはれ乍ら、馳けて歸つた後姿を想出す。一昨日、車中S先生にお目にかゝり、去る二十三日の井口博士の御講演の偏食のこゝから、一寸昨年の經驗を御話した所、参考にもならうから、是非書け、この御命令。御参考にはなるまいが正直に御報告して皆様の御教を仰ぎたい願から、二日目に届ける様」この嚴命を敢えて御受けした次第。

中國、四國、九州保育聯盟大會狀況

昭和十一年五月一日於福岡市縣教育館

第一日五月一日(午前十時開會)

出席者總數

三百二十名

來賓出席者總數

四十八名

開會式次第左の如し。

- 一 一同敬禮
 - 二 開會の辭 開催地側福岡市保育會長 山川敬行氏
 - 三 東方遙拜
 - 四 國歌奉唱
 - 五 勅語奉讀 總務 國富友次郎氏
 - 六 經過報告 總務 國富氏 地元側 水月氏
 - 七 役員選舉
 - 八 總務挨拶
 - 九 來賓祝辭
 - 一〇 協議
- 式次を逐ひ經過報告終るや會員より座長に地元保育會長

を推したし發言滿場拍手贊同。

山川敬行氏座長席に著く。

門司杉村氏發言 聯盟規約第四條を改正し總務一名の處に副總務一名を追加し理事若干名に改め尙ほ第五條總務及副總務は總會に於て選舉し理事は總務の指名に改正したし。

右贊成大多數改正のことに決定

座長山川氏 總務一名、副總務一名の選舉如何にすべきかを諮る。

門司杉村氏 總務には今迄の如く國富友次郎氏を副總務には大分縣天門氏を推舉したし尙ほ理事若干名は各縣より一名宛にしたし。

滿場一致贊成

尙ほ理事若干名の指名につき一二の希望出で各縣の事情を調査の上後日決定のこゝなる。

總務國富友次郎氏の熱心溢るゝ挨拶ありて後來賓祝辭に移り福岡縣知事畑山四萬美氏の祝辭(代讀)あり次で福岡市長久世庸夫氏續いて縣教育會長白阪英彦氏の祝辭演説あり、直に協議題に移る。

(一)四大節の奉祝歌を選定しては如何、都合により提出者より撤回。

(二)夏期講習會に就て、久留米幼稚園より説明ありて、門司幼稚園杉村氏雙手を舉て同感の意を表し遊戯は幼稚園に關係あるものゝみを講習したし述べ北九州に於る實際の講習狀況を語り九州にても一ヶ所位毎年開催し直接關係あるものゝ具體的のものに爲したしこの意見を述べ。

吉備保育會よりも同會が縣教育會市教育會市縣當局と連絡を密にし開催されつゝある模様を述べ。

其の他二三氏より發言あり。

(三)保育事業を一般に理解せしむる適當なる方案如何
提出園福岡昭和幼稚園より説明あり。

之に對し城北幼稚園長崎幼稚園其の他より府市町村當局の理解を求め保育聯盟の名に於てもパンフレットを配付さ

れ父兄會母の會等に於て幼児教育の重大性を説く等の方案につき述ぶる所あり。

時偶々十二時を過ぐ之にて午前の會を終る事なれり

五月一日(午後一時より)

福岡縣保育會發會式を行ふ。

式次第

- 一 一同敬禮
- 二 國歌奉唱
- 三 勅語奉讀 福岡市保育會長 山川敬行氏
- 四 經過報告 同 幹事長 水月文英氏
- 五 會則協議
- 六 役員選舉
- 七 會長推戴
- 八 會長告辭
- 九 閉會

勅語奉讀の後水月文英氏經過の報告をなし終るや門司杉

村氏は發言を求め座長として八幡市社會課長を推舉したき旨を述べ 滿場拍手贊成。

座長著席、福岡縣保育協會暫定案を協議す。

福岡縣保育協會暫定案

一 本會は福岡縣に於ける保育事業關係者を以て組織し北部中部南部の三地方に分つ。

二 本會は幼兒保育に關する各般の事項を研究し斯教育の普及進展を圖るを以て目的とす。

三 本會は前條の目的を達するための事業を行ふ。

一 總會 二 保育に關する研究調査 三 其の他必要と認むる事項

四 本會に左の役員を置く。

一 會長一名 本會を總括す、

二 副會長一名 會長を輔佐す。

三 理事若干名 重要事項及總會に關する事務を掌る。

四 會長副會長は總會に於て推戴す。

五 理事は北部中部南部地方より各々二名を選出す。

六 役員任期は四ヶ年とす但し任期滿了後と雖も、

後任者決定までは其の任に在るものとす。

七 本會の經費は理事會議の上適當の方法により處理するものとす。

右暫定案を議場に諮る、質問應答逐條考ふるにころありて全部承認することに決定。

尙會長には縣學務部長を副會長には山川市學務課長を推戴せり。最後に山川副會長の挨拶を以て芽出度縣保育協會の成立を見るに至る。

五月二日 第二日 午前八時三十分開會
本日のプログラム左の如し。

一 一同敬禮

二 協議

三 講演

畫食

四 研究發表

午前八時四十分山川氏座長席に就き協議に入る。

協議題中(一)(六)(八)を一括して議題とす。

(二)近時幼兒保育機關亂立の弊に鑑み之が統制上適切な

る方法の再検討。

(六) 保育事業の進展と其の統制。

(八) 公私保育施設の地域的連絡統制の件 (説明者後れ後廻しとなる)。

(二)の説明は小倉天心幼稚園より(六)は大分成蹊幼稚園より説明をなす。

右二題に就き、一五四一番、一三三〇番、一二八五番、

等より法令の不備、故之が改正を要するこゝ子供の善良なる使命に對し醜狀を表はす進歩の保育界を悪化する故に自治的統制の必要或は調査委員を擧げて對策を講ずる必要あり等の意見百出せり、本問題はこれにて打切。

(五) 1 幼児教育に於ける國體觀念の基礎的培養如何

2 中國四國九州保育聯盟の積極的活動の方案如何

大分縣保育會より簡單に説明あり。

一三四二番、一三四九番、一二二七番、一三三二番、一

三三六番、一三五一番、一三四九番等より聯盟總會を隔年

越に催しては如何文部省主催の講習會を聯盟區域に持ち來

すやうしたし尙ほ總會を年一回とし次回開催地を山口に願

ひたし等の意見出で(二)の問題に對しても國旗の尊重兒童に關する御寫眞新聞紙掲載分を粗末にせざるやうすること等につき意見の開陳あり。

(七) 聯盟地方の幼児教育普及の方法如何。

吉備保育會より詳細の説明あり、門司杉村氏も幼児教育の普及は時、人、場所の三要素を擧げ時は絢爛の時代人は保姆場所は秩序ある統制案により良き軌道を作るにありと述べ吉備保育會より提案の宣言發表に賛意を表して決議文委員を擧ぐるに賛成し座長に其の委員を一任す座長左の七氏を宣言決議案作製委員に任命す

岡山縣 吉備保育會幹事 大林 孫 治氏

廣島縣 光道幼稚園長 土井 愈 吉氏

山口縣 大島幼稚園長 眞澄 超 倫氏

大分縣 大分縣保育會幹事 天門 成 章氏

長崎縣 玉ぞの幼稚園 荒木 嘉 弘氏

福岡縣 門司幼稚園長 杉 村 茂氏

徳島縣 富田幼稚園 澤田 兵三 郎氏

第二日 午前十一時

九大佐久間文學博士の講演大要

余は幼児の心理を考ふる場合如何なる場合が注意され注意さるべきを感ずるを以て此の點を述べん今日の兒童心理の考察點は多方面なり從來生理的特徴より胎兒、嬰兒、幼兒、少年、青年に區別したり保育の時期は發達の最も著しき時期にして知覺言語運動の發達を爲す特徴あり故に兒童期は實に大切なる人格を形作る上に家庭教育保育の大切な役割を爲すものなり。

第一幼兒發達の著しき點は運動なり身體發達と精神發達との關係より其の身體の健全の爲運動の必要あり又鍛鍊の必要を生ずる所以なり。

第二には此の時期を経過して言葉を自由に操る點には幼兒には非常の仕事なり故に知能を傾けてこれが收得に當る幼稚園語地方語等言語發達の點より觀て面白く言語的方法手段に邁進するに至る而して幼兒は自己中心にて他人を考へず子供喧嘩は他愛なし而も社會的訓練を爲す上に於て重要な問題なり幼稚園に於ては子供の心理的理解に於て内面的のものに著眼し適當に導き心理的現象に應じ周到の用

意を以て良き善用を爲さざるべからず。

二日 午後一時再開

山川座長著席 午前宣言起草委員に依り成れる宣言文を朗讀せしめ、滿場一致原案通り決定。

宣言

今や我が國非常の時局に當面し舉國刷新更生を要するの秋吾等職を幼兒保育に奉ずる者責務亦極めて重大なり

惟ふに教育の源泉は之を家庭に求めざるべからず而して家庭教育を裨補し進んで之が改善進歩を促し相協力して幼兒の健全なる身心の發育を圖り善良なる性情を涵養し以て人間活動の根源を培養すると共に國民的教養の基礎を築かんとするもの即ち幼兒教育者の使命たり斯教育の重要な實に此點に存す。況や輓近社會生活日に複雑を加へ一家の事情を子女の教養に專にする能はざるもの漸く多からんことを以てをや

顧るに幼稚園令公布せられて既に十年幼兒保育機關の擴充進展見るべきものあるに至れり雖も現時の社會狀勢に鑑み保育の實際に徴し普及發展上未だ遺憾なる點尠しませ

す茲に中國、四國、九州保育聯盟第二回總會を開催するに際し一同謹みて聖旨を奉戴して協心戮力教育報告の誠を致さんことを誓ひ左に斯道振興上特に留意すべき事項を掲げて之が實現徹底を期す

- 一 保育の任にあるものは時局に鑑み一層國體觀念の培養に努力すること
- 一 保育者は職責益々重大なるを自覺し修養研鑽に専念し恪勤精勵以て保育の實績を擧ぐるに力むること
- 一 幼児保育趣旨の普及徹底を圖り統制ある増設の氣運を促進すること
- 一 幼児保育關係者は増々聯絡統制を保ち斯教育の發展を圖ること
- 一 保育方法の改善進歩を圖り且つ設備の充實に努め幼兒の個性に適應し其の生活に即せしむること
- 一 一層家庭との協調を密にするに同時に幼児保育を通じて家庭教育の改善を圖ること

昭和十一年五月二日

中國四國九州保育聯盟

直言を可決するや直に談話題に移る。

- (一) 各園の情操教育についての實際的取扱方承りたし
 - (二) 保育會の活動狀況承りたし
- 右一括し長崎市保育會より説明す。

長崎市保育會狀況 長崎市保育會は縣保育會と聯絡し講演會連合遊戯會等を開き愛護デーに動物園の見學等をなす幼稚園及託兒所總數二十二、九百五十の園兒數を有す云々
吉備保育會狀況 吉備保育會より

今迄の辿り方を顧るに四十年前は眞に不完全なるものにして設備方法に市民父兄は幼稚園の不可なるを述べて廢止論さへ起りし位なりしも幼児發育に熱心なる國富友次郎氏は日夜奔走市當局父兄有力者に幼児教育の必要なるを説かれ存續するに至れり

國富先生は一般市民縣市當局に十分幼児教育につき知悉せしめられ各事業に携はるゝに拘らず幼児保育の爲には粉骨細塵の誠を致されたる結果保育事業の美はしき發展を見るに至り現在會員數四百名、役員會は年十回定期總會二回講演會講習會等度々開き來り關西連合の保育會には百名近

くの出席者ありて最近は幾度か大會を引受け出席數何れも數百名に及ぶ經費は無論多くを要するも補助なき受けず會長副會長會員何れも心を一にし幼児保育に可なりの活動を續け居るなり。

同 午後一時半より研究發表に移る

(一) 1 園長としての心得

2 手工について

福岡縣伊田町慈光幼稚園長 山 八 重

(二) 觀察取扱上の要點

門司幼稚園長 杉 村 茂

1 心理作用の二方面

2 被教育者の觀察態度

3 保育者の觀察態度

4 觀察材料の選擇

5 觀察の保育方法等の要項につき發表

(三) 1 玩具に就て 久留米幼稚園

2 團體觀念養成に就いて

1 は略せられ2につき左の如き發表あり。

2 イ 幼児時代に日本精神を植えつくる必要

ロ 每朝奉安室に向ひ最敬禮

ハ 唱歌皇國の合唱

ニ 一日十五日神詣で及話

(四) 幼稚園児の精神發達の一研究

道德意識の發達に就て 福岡市保育會 高 田 トク

一、序言 二、調査の目的 三、課題 四、被驗幼兒

五、調査の方法 六、調査の主要結果 七、結び

右調査研究の各表につき詳細の發表を終る。

終りに臨み吉備保育會よりの挨拶あり。

尙ほ故荻野先生の爲一分間の默禮を爲し、總務國富友次

郎氏の感謝挨拶ありて後吉備保育會十數名の保姆の遊戯を

一同見學す

(五) 遊 戲 吉備保育會

1、乗物遊び 2、兵隊さん 3、雷太鼓

保姆達のスマートな服装にて斬新なる創造的愉快なる遊

戯の發表は一同の喝采を浴びて午後三時半、二日間に亙る

保育聯盟大會を有意義に終れり。

北信五縣保育大會

—— 富山市で開催 ——

北信五縣保育大會は富山縣保育協會主催で富山縣及び市

の兩教育會、日滿産業博協贊會、フレーベル館等の後援の

下に五月十六、十七日の二日間、富山市大正會館で開催さ

れた。第一日の十六日は午前九時半開會、皇居遙拜、國歌

合唱、勅語奉讀あつて後、今井會長の開會の辭について、

來賓土岐富山縣知事(遠藤學務部長代讀)、山崎富山市長の

祝辭、平生文部大臣の祝電披露があり、それより議事に入

つたが議長には滿場一致で加舎理事(附屬幼稚園主事)が推

され、左記の宣言を異議なく可決。

◎

續いて會員の研究發表に移る。

(一) 暑中休暇中に於ける幼児の取扱方

福井市私立足羽幼稚園 石坂信秀

(二) 幼児の作つたカルタ

富山縣城端託兒所 舟田かほる

(三) 個性の指導に就て

新潟縣三條市松葉幼稚園 五十嵐千代

◎

宣言

明日の國家を擔ふて立つべき我が幼な兒の魂を擱んで其の成長をみまもる私達は、近時内外多事多難を極むる我が國情に鑑み更に其の責の重大なるを痛感して止まない所である。而も幼児教育の事たるや日常嬉戲の生活中に薰陶感化を行ひ、人間としての根基を造り上げるべきであるから幼児教育者その人にまつ所殊に甚大なるものがある。私達は此際特に自省、自奮、國家隆昌の基本を培ひ、一意保育報國の道に進せんことを期す。

茲に北信五縣保育大會を開催し、當地方に最も相應しい

保育の方法を究明せんとするに當り所信を披瀝して宣言す。

昭和十一年五月十六日

北信五縣保育大會

(四)當園の生活要録

富山縣女師附屬幼稚園 佐倉シゲ

(五)保育一家言

高田市愛國婦人會託兒所 水野やすゑ

意見交換等があつて午後零時半散會、一同晝食後、富山の賣藥の翹楚廣貫堂の工場を視察した。第二日目は十七日午前九時から開會、前日に引き續き議事に入つた。

研究發表

(二六)冬季に於ける幼兒の運動につき

富山縣三門市託兒所 森丘ミメ

(二七)保育事業の振興策

新潟縣村上幼稚園長 樋木繁之助

(二八)宗教的保育の二三の例

富山縣同和幼稚園主事 松倉義研

(九)本園の夏季施設について

石川縣北陸女學校附屬第一幼稚園 越村 外

尙左記談話題につき各自意見發表ありたるが、各縣保育園體の連絡提携(富山縣保育園協會提出)の件は委員附託になつた。議事終了後いよく倉橋先生の御講演。北陸の地に初めて足を踏み入れて下さつた先生を、一同はぎんなに感激してお迎へした事でありませう、幼兒保育の精神の題下に一時間半にわたる御話は會員一同に多大の感銘を與へました事は今更茲に申すまでもない事であります。

尙閉會後目下開催中の日滿産業博覽會見學其他、市内見學等の行事あり隨時解散致しましたが、今回の大會出席者は北信五縣下の幼稚園、保育園、託兒所等の關係者約三百五十名に上り、當地方としては近來稀なる盛會でありました。

第二日目の談話題

(一)幼稚園と保育園(託兒所)の差異について

富山縣慈光幼稚園 吉江 榜 巖

(二)四大節祝日の幼兒お土産に就いて

福井縣榮冠幼稚園 中野 米子

委員會報告

(三) 各縣保育團體の連絡提携について

富山縣保育協會

一 北信五縣保育團體の連絡提携に就いて

(四) 摺紙は摺紙の順序によりて練習するのこ

季節によりて練習するのこ何れが效果多

1 組織、縣を單位させる北信五縣下の保育關係團體を以て組織す

2 名稱 北信五縣保育聯盟名稱す

きか 福井足羽幼稚園 石塚 信秀

3 目的 北信五縣下の特殊的事情に基づく幼児保育の目的達成の爲に一層相互の連絡提携親睦を期するを以て目的とす

(五) 各縣に於ける幼稚園の保姆養成機關並に施設狀況如何

富山縣五萌會 北島 フユエ

4 會合 前記の目的遂行の爲に各縣代表者の會合を毎年一回之を開催す

(六) 幼児給食に就いて

福井榮冠幼稚園 中野 米子

但し開催地につきては其の都度之を定む

(七) 保育ミ國體精神

富山縣日枝幼稚園 池上 ツネ

附記 右聯盟結成迄の一切の事務は富山縣保育協會に於て之を取扱ふ。

(八) 冬季に於ける保育狀況及び特に留意せらるゝ點につき承りたし

富山縣五萌會 八河 ミク

二 紀元二千六百年を記念する爲の保育大會開催方に就いて

(九) 幼児保育の眞の目的を達する爲保育者は

先づ如何なる點に留意すべきか

右開催方に就きては北信五縣保育聯盟代表者會に委任すること。

福井縣小濱幼稚園 山森 こぶく

系統的保育案の實際解説 (四)

生活訓練	倉橋惣三
誘導保育	菊池ふじの
唱歌遊戯	村上露子の
談話	新庄よしこ
観察	小島光子
手技	及川ふみ

「系統的保育案の實際」は、東京女子高等師範學校附屬幼稚園の編になり、日本幼稚園協會から發行せられてゐる。

昨年七月以來、既に多大の部數が、全國保育界に普遍し、熱心なる保姆諸君によつて、研究せられ又實施せられてゐる。しかも此の保育案は、舊來の諸保育案、殊に單なる羅列的保育要目と全く異なり、幼稚園保育の本義に立脚して、幼兒の生活に出發し、生活に就て、尙ほ進んで詳細なる解説を求められることが尠くない。

本稿は、それ等の要求に對して同人相促し、分擔して各項の解説を試みたものである。説いて詳細を盡さないのは素より、私案私説、極めて熱せざるところが多いのを恐れる。たゞ、保育案の表示のみにては一層盡さざるを思ひ、これが理解を助け、實施上の便を加へ得んことを希ふてゐるのである。

尙ほ念のため附言するが、本保育案の本質的中心をなすものは、各項の内容よりも、保育案そのものの立て方にある。内容の選擇排列も亦、一々意を用ひたところであるが、保育案としての根本の建て前を離れては、保育としての活きたる意味が失はれる。従つて、「系統的保育案の實際」を絶えず傍に置かれることなくしては、本解説は正しき用をなすことを得ないであらう。

年少組、第一保育期

——満四歳から満五歳——

生活訓練

第十三週

自分のものにせよ、他人のものにせよ、叮嚀に取り扱ふことは、是非つけたい習慣である。實際に習慣である。惜しいから大事にするとか、叱られるから大事にするとか、そんなことを一々考へてするこゝではない。眞に習慣として行はれるこゝであり、それであればならない。

第十四週

第一保育期の終りが、此の保育案では七月の十日になつてゐるが、これは一般には通じないこゝであらう。女子高等師範學校の附屬幼稚園の立案で、正直に自分のこゝろのまゝになつてゐるが、之れは多くの幼稚園に適するやうに、もう少しおそくまでにした方が適切であつたかも知れ

ない。

こゝろで、夏休み中の諸注意をこゝで與へるこゝになつてゐるが、之れは他の週のこゝ異つて、幼稚園でする生活訓練ではない。夏休み中、家庭でされるべき生活訓練であつて、謂はゞ修身訓話をいつたみたいなきこである。従つて、保育案さいふのでもなく、先生の用意である。さて、その夏休みの諸注意の條項に就ては、親達に話したいこゝ、書付けにして家庭へ持ち歸らせたいこゝの方が多くて、幼児へ直接に言つたこゝろで仕様のないこゝもある。『皆さんは夜寝冷えをしないように御注意なさい』なんかは、その最も著しいものである。寝冷えをしないやうに、よく蒲團をかけてゐるやうと思つたつて、熟睡中のこゝでさうしようもな

い。寝冷え／＼なんて考へつゞけてゐたら熟睡することも出来やしない。之れなんかお母さんに寝ずの番を頼むか、蒲團をはいでもいゝ豫防注意をよくして貰ふか、きつちにせよ、幼児に言つたつて仕方がない。こんな風のこゝしは、他事もいくらかあるこゝしである。『お休み中も歌をうたひ、遊戯をし、繪を描き、製作をし、自己保育を怠るべからざるこゝし。』そんなこゝしをいふ先生もあるまいが、又あるやうの氣もする。先生も何んの氣もなくおつしやるに過ぎなからうが。

それならば、かういふこゝしを注意すべきかといふこゝし、私なら、夜早く寝るこゝしを何よりも強く約束して置きたい。それも、親の方で注意しなければ、實行出来ないこゝしであ

誘導保育

第十三週

七夕まつり

この祭りは、陰曆の七月七日に行はれるもので、本來は

るが、親が言つても、なか／＼實行され難いこゝしである。それを幼稚園でよく言ひ聞かせて置くこゝし案外——ではない。それが當然かも知れないが、なか／＼きゝめのあるものである。そして、子ぎものよき生活の一切の元締めになるものは、此の早寝の一事に有すこゝしといつていゝ位大切なこゝしである。

それから、之れは生活訓練といつていゝかさうか分らないが、朝顔の鉢を持たせて歸すこゝし、何か一つの繼續製作を課するこゝし。それを夏休み中の仕事にさせるのである。これは相當面白いこゝしであらうし、生活訓練ともなるものである。

その他いろいろ。

初秋の行事であるが、現今は殆んゞ陰曆云ふものを採つてゐないし、又一ト月おくれの八月七日にする所もあるが、その頃は幼稚園がお休みである云ふ様な關係で、新

曆の七月七日にしてしまつたのである。私共もずつと土用前の七月七日にして貰つて來たので、今更いぶかりもしなくなつてしまつたが、或書には、「初秋の夜空の渺茫たるに銀河を仰ぎてこそ七夕祭の感はあれ、土用前なる眞夏の夜にてはふさはしからず」とあり。

七夕まつりは、盛大にするところ、ほんの形ばかり位に簡單に濟ます所等、地方によつて様式が異なる様である。年々入學して來る實習科の生徒等について聞いて見ても、そんな事をするのか知らない人もある程である。併し年中行事として五月の菖蒲の節句ミ、九月の重陽の節句ミの間の一節句ミして昔から行はれてゐるものであるから、幼稚園としては年毎に催して、子供等の記憶の泉の一つとしてやり度いものである。私共も幼時の記憶を辿つて見るミ懐しい思出がある。いろ／＼な綺麗な彩紙を、この日だけは思ふ存分に買つて貰つて、何でも自分の好きなものを、作り度いものを作つて、竹の笹に吊したものだつた。短冊や、吹流し、又はお人形の着物だの、あみだのを思ひ／＼に切り、之を下げるのがまた樂しみだつた。この頃は幼稚園の特技として、可愛いらしい提燈だの、あみだの、ふら／＼人形

だの、それからお舟にひょうたんの下つてゐるのだの、お船から下した網にお魚の下つてゐるのだのミ、いろ／＼繊細な美術品ミも云ひ度い様な複雑なものも先生方は知つて居られる方が多いであらうから、こゝにいふものを、いろ／＼拵へて、この七夕祭りの飾りを賑はして上げたら子供達も嘸喜ぶ事であらう。

それからこんな思出もある。この七夕飾りの短冊には、芋の葉の露で墨をすり、それを筆につけて天の川、ミか七夕様ミか織姫さまミか、この節句にふさはしい文字を書いて上げるミ、手蹟が良くなる、ミ云ふ様な傳説も聞かされて居るので、幼いながらも上手になり度いミ思つて、一生懸命に筆で書きつゞけた記憶もある。それから七夕様の日に、川で髪を洗ふミ、毛筋のいゝ、いゝ髪になれるミ聞かされて、幼な心にも、いゝ髪のある者になり度いミ思つたのか、來る年も來る年も缺かきず、奥山から流れて來る里川の流れに頭を浸して洗つたものだつた。又こんな事もあつた。七夕の日に雨が降るミ、その年は栗に蟲がつく、ミ私の村では語り傳へられてゐるので、秋の樂しみの栗が蟲栗

になつてはつまらないと、幾日か前からその日はさうぞ雨の降らない様にご祈りつゞけてゐたものだった。それが、折角の祈も空しく雨が降つてしまつたので、裏山の木母等を取りながら、来る秋の栗の事等を考へて、がっかりした思出等も、今かすかに浮んで来る。私はこんな幼時の記憶等を思ひ出して毎年七夕に向かふ。

保姆としては前日にいろ／＼の色の紙の用意をして置く。色紙や短冊は、大きな裁斷機(或は鋏等にて)で切つておく。あみ、きもの、提燈、お舟等は、子供等が自分を取り巻いてる中で、拵へ様と思ふ。子供達は、自分達が作らなくても(複雑なものは子供には作れぬ)先生の作るのを見て居るだけでも、充分に楽しそうである。若し、着物の型等は、女兒等作り度からうから、出来榮えはさうでもよろしいから作らせるまい。

それから自分の聞きおぼえの、「短冊に何か書いて七夕様に上げる」と、字や繪が大變お上手になれるのよ」等云つて聞かせて、用意して置いた硯と筆を出して来る。そして一人残らず短冊に何か書かせる。その前に、七夕様に上げ

る言葉をして、天の川、さか星まつりさか、七夕様さか言つた様の言葉を、片假名で黒板に板書して置いて、これを書いてよし、ご自分の名まへでもよいし、繪でもよいし、云つた工合にして銘々に選擇させる。そしたらこんな事があつた。少しも字の書けなかつた人が、子供心にも、ちつとも字の書けなかつたのは自分ばかりだつた云ふ事に心付いて、家へ歸つてからお母様に話して、それから僕も字をおぼえるよ」云つて、ポツ／＼自分の名等から興味を持つて、覺え様とし出したこの事であつた。思ひ設けぬ刺戟を與へた事であつた。

短冊等の色は、昔から五色の彩紙を……云ひ傳へられてゐるが色模造紙の中でも強烈な原色の様なのがはつきりして、ひき立つ。その他のものもそれ／＼色合を考へて、きれいな七夕まつりに出来上らせる様にしたい。

これの期待効果は、年中行事に對する興味、美感の涵養、手技、こつと言つた様なもの、

繼續時間は、その日一日、午前中この仕事にかゝり切るさか、もつとつゞいて、子供のお歸り間際に出来上つて庭

に立てられるミか言ふ位のものであらう。

第十四週

お話し唱歌の會

もう二三日限りで、あきは暫くの間離ればなれに居るのだと思ふミ、何ミなく名残を惜しみ度い氣持になるものだ。子供達には、それ程先き先きの事を思つて見る等の様子は見受けられないが、こんな氣持で、終業式の前日あたりをお話し唱歌の會の日に當てる。その會の前日位に子供達に相談を持ちかける。

「もうあしたミ、あさつてミ二日きりであきは長いお休みになりますから、あしたは皆さんで、お話だのお唱歌だのお遊戯だのを交る々々して面白く遊びませうね、先生もお話をして上げますし、人形芝居も見せて上げますよ」

ミ語り出して、吟誦、唱歌、遊戯等は、この一學期の總ざらひの様なつもりで、それ／＼に人を割り當てる。その合間に先生のお話さか、人形芝居さか云つた様な子供等に享け身のものも加へてプログラムを作り、黒板に書いて置く。前日の相談の時は割合に屈託なく、一人でするお話し

様なものでも、さん／＼引き受けてプログラムだけは見事に出来るものだ。併し愈々當日になるミ、席等も日頃ミ違つたものが作られ、まん中にお花でも飾られたりするミ、子供等の氣持も改まるのか、今から云ふ時になつて昨日の約束は水に流した様に忘れられて、折角のプログラムが亂れ勝ちになるものである。だから保母はその場になつても周章せずに、みんなの子供をそれ／＼に組み合せて、兎に角一人残らず、何等かを發表させるミ云ふ手際が大切である。何れにしても五ツ六ツの子供であるから、始めるミ間もなくみんなの緊張が緩み、そろ／＼立ち歩かか、話し合ミかゞ始まるが、これをうまく統制して兎に角、みんなが一通りし終へるまでは、共に聞ミ云ふ態度を持ち続け度いものだ。

この會の期待効果は、發表の練習、人の發表に對する態度、共に樂しむ心、ミ言つた様なのがそれだ。

繼續時間は、經驗ある方はミなたも御承知の事で、そう長続きするものではない。小一時間もつゞくだらうか、

かくして第一學期も明日一日でおしまひになる。この頃

唱歌遊戯

第十三週

唱歌 一回

汽車ポッポ(新作唱歌遊戯)

この曲は「汽車ポッポ」の感じをよく表はしてゐる。前奏を聞いてゐる間に、子供たちはすつかりリズムに乗つてしまふ。何かじつこしてはゐられない氣持にかられて、
シユッ シユッ シユッ シユッ ミカシユッ シユッ
ポッポ……ミカくちずさんで汽車の氣分を出してゐる。すぐに覺えられる。輕快に歌ふこと。

遊戯 一回

ふ九月の日の、みんなの成育の多いのに瞳をみはる日の樂しみも思ひやられて又別の樂しみを持つて別れを惜しむ。
明日は、終業式のあきで、改めてまたお休み中の諸注意等を親に代つてして錢別の言葉さする。

汽車ポッポ(記事参照)

あのポッポ……ミ煙をはいて勇ましく馳けて行く汽車ポッポの氣持を出して、愉快に元氣よくしたい。前奏の時の動作は大きくする様に。トンネルをくゞつて行く所がやはり一番うれしさうだ。慣れて來るミ、つい急いでくゞりたくなつて、曲に合はさないで前の人を押しでこちやくに馳け出す様な子供も出て來るから、注意が必要である。

かたつむり(記事参照)

かたつむりミ云へば子供は何を先づ想像するか知ら？あ

かたつむり

の脊中にしよつた殻、ニユッキ突出したつの、そうしてのろく、こ這ひ出して行く様子を思ひ浮かべる事だらう。其等を表現して行く所に興味もあり愉快を感じる。

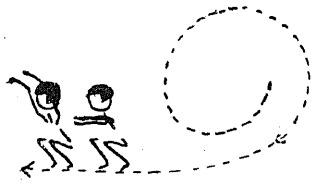
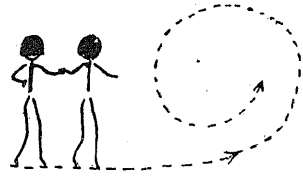
第十四週

別に唱歌とか遊戯だけこしての時間をこらなかつた。誘導保育案の計劃こして「お話し唱歌の會」を催すが、其中に個人的に唱歌や遊戯の發表の機會を作る。子供たちの夫々に好むものをして、共に楽しいひときを過したい。

かたつむり 戸倉ハル氏振付

準備 十五人位づゝ一組を作る。

第一小節より第二十三小節まで(四十六呼間)



一組の者が手をつなぎ、一番先の者が先頭となり、渦巻の様な形に進行する。先頭は曲一ぱいに渦が巻ける様注意し乍ら進む。

第二十四小節(二呼間)——この二呼間を音を強くするこよい——

全部踞むで廻れ右をする、即ち一番後だつた者が先頭になる。この先頭の者は、両手を握つて上にのばし、かたつむりの角の様にし、他の子供は前の者の肩に両手をのせ全部踞むだまゝ歩いて行く、先頭は真直に出て渦巻を解いて行く。

文部省唱歌「かたつむり」を何回もくりかへし、うたひ乍らするこよい。この曲はどんな曲でもマーチの四拍子のものゝ類ならばよい。

汽車ポッポ 戸倉ヘル氏振付
新作唱歌遊戯

準備 圓形を作り内方を向く。

前奏

両手を五指を開いて掌で車を作り、肘を曲げ體の側面にもつて行き、この車を肘から先を大きく下から上に一廻轉すると同時に兩脚の膝を曲げ、のばす。この動作を四回行ふ。

キシヤキシヤハイナキシヤポッポ

車を動かし乍ら圓周に沿つて行進する。

キテキヲナラシイサマシク

車を動かし乍ら自分のまはりを大きく一周りする。

ケムリヲハイテカケテユク

皆圓の中心を向き、手だけの動作を行ふ。両手の先が肩の高さに来る様にあげる、肘を曲げて肩から肘までは體

につける様にして。掌は前を向けて握つたり開いたりし乍ら手を次第に上にのぼして行く、そして最後には、すつかり上に手をのぼす様になる。

キシヤキシヤハヤイナキシヤポツポ

手を下におろし、圓周に沿つてスキップで行く。

間奏

前奏に同じ。

キシヤキシヤハヤイナキシヤポツポ

一番と同じ。

トンネルヌケテノヲスギテ

圓周上の適當な場所に二つ三つ、二人両手をこつてトンネルを作り、皆圓周に沿つてトンネルを通り車を動かし乍ら進む。

ハシヲワタツテカケテユク

トンネルの者はそのまゝで、他は五、六人づゝ、一列車を作り、先頭は手の車を動かし、他は両手を前の者の肩にかけて、こきざみに走つて行く、一つの圓に數列車出来るわけである。

キシヤキシヤハヤイナキシヤポツポ

トンネルの者はトンネルをやめ圓周に加はり、皆スキップで圓周に沿つて行く。

第十三週

七夕様

仙臺はわが國でも七夕祭りの最も盛に行はれる土地で聞
く。こゝで生れた誘導保育の筆者が詳細に書かれてゐるの
で、談話としては、それ以上に何も記すことは無い。

實際に當つて考へて見ても、誘導保育は誘導保育、又そ
の外に談話でいふわけでは無い、何れかに織り込まれて
話されてこそ誘導保育なのであるから、前項を見て頂きた
い。但し、支那の空想から出たさいはれる二つの星の詳し
い話は、年少組には少し早いかと思はれる。

一言附け加へるなら、その日、かねて用意された竹が、
お室に運ばれる、それに、昨日から、一昨日から作つてお
いたいろくくの物を結びつける。そして

「今日が七夕様ですよ、そして繪や字がお上手になります
やうに云つて、いろくく書いておいたでせう、サア、空

のお星様迄届くように、こゝへ結びつけませうね」
と云つて、先生が適宜に結びつける。

七夕様のこの行事は子供らしく神様にお願ひ、ごみをする
さいふ方に結びつけたい。この頃の年齢にして宗教的情操
を養ふ素地をつくるのに、よい機会かと思はれる。

七夕様を童話に作つたものがあるにはあるが、さうもこ
ごつけが多分に感じられて用ひたくない。ごつけた童話
になるさおかしなここにお星様が使はれることもあるか
ら、それよりもいつそ昔からの云ひ傳へそのまゝを話す方
がいゝ。すべて行事を保育にもつてくる時は、そのもつ
宗教味を存分に生かして行く方がいゝと思ふ。

三匹の小犬のはなし

時計を主題にしてゐるが、所謂ごつけでは無くて、童
話らしく素直に書かれてゐるので、いゝ材料である。チッ
クタクといふ振子の發音は、はつきりミ弾力をつけてい
ふ。三匹の小犬がびつくりする所をおもしろく。

第十三週

かたつむり

梅雨から梅雨明けにかけての幼稚園の動物での人気者はかたつむりであらう。言ふ迄もなく軟體動物であり、腹足類・有肺目に屬してゐる。一口にかたつむり、デン／＼蟲と言ふけれど、その中にはいろいろな種類がある。關西地方に普通な「くちべにまひまひ」は殻が右旋で殻の口が淡紅色なのでその名がある。關東地方に普通なのは「みすぢまひ／＼」で褐色帯が三條ある故この名がある。九州に普通なのは「みすぢまひ／＼」。その他「ひだりまきまひ／＼」は左巻である事が珍らしく關東及び中部の地方に分布してゐる。

大ていこの様なものであるが、みつけたならばガラス槽

で飼ふのも面白い。土を入れて食物として木の葉（桑の葉を好むものが多い）こけの類を與へてゐる。觀察方法をこくべつに言ふ迄もない。子供のそれにむしろ引かれて發展させて行くべきであると思ふ。

七夕まつり、笹

（年少組参照）年少組の時には、色紙や短冊をゆひつける物についてより、つけるものゝ興味で一ぱいであつたが、年長組になるに笹にも一つ注意をむけやう、普通の木との相違を、何か具體的な例を出して比較させてもよい。が吳も理科教授にならない様に、そして笹を觀察させる事も七夕祭りの興味への一つである事を考へてし度いものである。

第十三週

自由畫 自在 一回

木 一回

園庭の立木の寫生をする

粘 土 自在 一回

缺仕事 水鳥 一回

水鳥の形を謄寫して左右兩面をつくり、これに底をつけて、白のクレヨン或は蠟をぬつて水に浮ぶやうにつ

くる。

七夕まつり

いろ紙を色紙、短冊の形に切つてタナバタサマ 天ノ

川 なぎかゝせ、幼児の名なぎも片假名で毛筆でかゝ

せる

年長組、第一保育期

— 満五歳から満六歳 —

生活訓練

第十三週

ものを大切に取り扱ふさいふこは、幼い子ぎもには相當むづかしいことである。もの、なんかに氣を配つてゐるべく、餘りに遊びに氣をこられてゐるからである。ものばかり大切に、ろくろく遊ばないやうだつたら御隠居さん幼稚園になつて仕舞ふ。そんな訓練をしようとするのではない。だが、しかし、それにしても、ものには使ひ方があつた。又もの、取扱ひの亂暴なのは、もの、問題としてよりは、その氣もちの問題として考へられて来る。大げさにいへば、その子の性格問題でもあつたりする。いくら遊びに夢中だからといって、椅子や机を蹴さばして、譯のものではない、蹴さばして平氣でゐられる筈のものでもない。

それを平氣でゐるこは、ここが粗暴性といふところをもつのかも知れないし、それから粗暴性の傾向をつくるこもあるに相違ない。

こころで此の習慣をつけるために種々の注意がいるが、大きく分けて間接注意と直接注意にするこが出来やう。間接注意といふのは、個々の場合、その時々々の注意でなくして、全體的に、平生から氣をつけて置きたいこころで、それに二つあつて、第一は全般の整理整頓をよくして置くこころである。たさへば保育室の中が亂雑不整頓にされてゐて、その中で一つ／＼のものを大切に扱へないつても無理なこころである。その室の中にあるだけで、氣分が亂雑になり不整頓にされる。つまり、子ぎもに誘ひをかけるや

うなものである。同じ幼稚園の中で、ものゝ破損率の多い室と少ない室がある時、調べて見たら、その室の不整頓率に併行するかも知れない。子ぎもには別段そう／＼口やかましくいはないが、室そのものゝ整頓をよくつけてゐる保姆さんは、それが既に子ぎもへの訓練の基礎を置いてゐる人である。第二に、ものを破損のまゝにして置かないことである。いくら注意しても、ものは破損せずにはない。そうしたら直ぐ修理することにし、少なくとも一應別のところへ運び出して置くことにしたい。足のない椅子、破れたカーテン、その他何々々。そんな怪我をしたもの、を、そのままに使つてゐるのは、第一そのものに對して痛々しい話である。又、そんな破損状態に麻痺させることでもある。一體、ものを大切に取扱ふさいふことは、心もちこしては、ものをいたはることにである。可愛そうに、氣の毒に涙を流すまでとないにしても、びつこの椅子に平氣に腰をかけたゐるのは残酷である。次に直接的注意としては、その時に見逃さないで注意し、自然に習慣のつくやうにする。ことに他ならぬが、それは叱るのでなく、靜かな心づけであ

ることを忘れてはならない。「コラッ」、まさかそうでもあるまいが、先生のお聲が荒い、子ぎもは、びつくりしてやめても、心そのものは、そのお聲の如く荒くなるでせう。やさしみの習慣はやさしみでのみつけてやれることである。

第十四週

年少組の項参照。

追加

前にも一寸述べたやうに、此の保育案では七月がこゝで切れてゐるが、一般としては此の後少くも二週間、或はもつぎ後まで幼稚園が開かれてゐる。その間の生活訓練についてさういふことが必要であらうか。夏だからさいつて特別のことが有るさいふ譯でもなからうが、こゝでは特にさういふ見方で考へて見る。

その一つは汗の手と汗の顔である。それも遊んでゐる最中は素より問題にならない。子ぎもは平氣でゐるし、先生もそのまゝにしておくがよからうが、食事の時にお歸りの時、それは是非洗ふことにしたい。手はいつでも洗ふであらうが、顔も洗ふことにしたい。年少児の方は自分ひみり

ではむづかしいものあらう。年長兒でも手傳つてやらなければなるまいが、兎に角く、洗はなくては氣が濟まぬ習慣をつけたい。若し大勢の子で一々洗はせるのが大變なら、なましぼりの手拭でよくふかせるのもよからう。さう汗のまゝ歸るのは面白くない。それに、暑い日には、時々靜かな休息の時間が欲しい。それも休息としてさせることはむづかしいかも知れないが、せめて、順々に、靜かに顔を拭いて歸る位のごきは出來もするし、そうしたいごきである。此の場合、手拭を必ず銘々別のにすることが言ふまでもない。一體、夏の間はハンカチ位では足りないから、銘銘の手拭が幼稚園に用意されてあるのは當りまへのごきである。よく名前を記して置き、子ぎもの歸つた後、よくすすぎ出して干かして置く。

これは子ぎもさいふより、先生のお手敷をかけるごきになるが、餘り汗でぬれてゐる子ぎもの下着は、きりかへて歸してやりたい。汗のまゝの下着で電車なきへ乗つて、その意から風が吹き込む。いゝこゝろもちでうごゝする。かせをひくごきにもなるのである。御面倒ですがよろしく

お願ひしい、汗問題の序に一寸申し添へて置く。

次には水を飲む問題である。暑い、汗があんなに出るのだから、のぎもかばく。水を欲するのは當然である。之れに就て、水を飲ますかぎうか。湯に限るか。飲ませるにしても制限するか自由にするか。そこは各園いろいろの主張があるであらう。一概にいふべきでないが、ちゃんとした水道のある土地なら、生水を飲ませたつて危険はないであらうし、その方が却つて清潔でもあり、からだの爲にもいゝであらう。但し、家庭に一致しないミ往々腹をこわすので、そこは實際に就て注意したい。さて、その水を制限するにしても、實行はむづかしいごきで、飲みたい時飲むさいふので大體よからう。適當な設備が出來てゐて、一時にたんき飲まぬやうになればよいのであらう。それには、吹き出し式栓水がいゝやうである。ちうゝく口をつけて吸ふので、口中ものぎも相當うるほひながら、水の分量としてはさう多いごきにならない。

ミこゝろで、子ぎもによつては餘り度々飲むのがある。それは、からだの要求でもあらうが一つには習慣であるから、

生活訓練として注意を要するこゝになる。個々訓練であつても一齊のものではないが、さうかするこゝそれが組中の流行になつたりする。まあ大體に於て水はほんの時々、ほんのちよつこ飲むこゝいふ風に癖をつけたい。

第三には、これは一般幼稚園の設備になつてはならないが、夏季さいふこゝからの希望としては、特に午後までの保育なら、午睡が必要になるであらう。その場合、よく眠るこゝの習慣、よく起きるこゝの習慣である。これは勿論、先生の方からの仕向けによるこゝであるが、矢張り一つの癖でもある。横になつたら直ぐ眠る。起されたら直ぐ機嫌よく目をさます。そのの中々出来にくい子もあるが、訓練によつて出来るこゝである。

これに就て、夏季こも限らぬが、家庭でもその癖をよくつけるやうに打合はせたい。早寝早起きの時間的習慣の次に、寝つき寝おきの良習慣も極めて必要である。しかも寝おきの悪い子こもは澤山あるこゝで、それが一々大人の場合のやうに、神経衰弱さいふ譯でもないから、一寸した訓練で直ぐなほせるこゝである。勿論、いろ／＼の内的外的

の條件に妨げられるこゝもあつて、その子の心がらだけではないが、それにしても躰がきくこゝで、午睡に限らず注意したい。その中でも寝起きの悪いこゝいふのは一つは我まも手傳ふこゝで、さつさこ起き、機嫌よく顔を洗ひこゝいふ風に、初めはつこめさせる必要もある。おゝさうかくで甘やかせて、大人の方で負けてはならない。それが、冬の朝は寒くて床を離れ難いこゝいふこゝもあるが、夏では氣だけの話である。夏に於ける睡眠訓練として注意したい。幼稚園で午睡させる時は、その訓練が直接出来るが、そうでない場合には、家庭こよく打合はせる一方、その子にも、その話をよくしてお床にはいるこゝ直ぐ眠りますね、起きる時は直ぐはつきり機嫌よく起きますねこゝ、一種の暗示を與へるのも效があるものである。大層睡眠のこゝをいふやうであるが、食事、排泄、睡眠こ此の三つこそ、乳兒は勿論幼児でも、生活訓練の大きな基礎問題だからである。

誘導保育

第十三週

七夕祭り

凡て年少組と同じ調子であるけれど、子供達の爲す仕事は、何しなしにガッチリ出来る。年少組の所にくだく書き連ねてあれば、こゝでは何も言ふ事もない。

第十四週

唱歌遊戯

第十三週

唱歌 二回

波よ来い来い(小學唱歌七十一曲集)

もうすぐ楽しい夏休み。海が、波が、みんなを待つてる。去年の夏の思出もなつかしく、はるか心は海へ。こ

空欄になつて居るけれども、何もしいのではない。おそらく例外なしに終りの集り、お話し唱歌の會式のものか催される、もうぢき、長いお休みが来る云ふのであるから、共に楽しみ別れを惜しむ云ふ心持を表はさずには居られないのである。この會に就いても凡て年少組の時と同じ調子。併し内容は年長組である故に自ら異なる事勿論である。

の可愛い歌にたくして、子供たちのひたむきな今の氣持を靜かにうたはう。

遊戯 二回

波よ来い来い(記事参照)

波よ来い来い(記事参照)氣持を表はして、無邪氣に輕や

かに取扱ひたい。

第十四週

唱歌 一回

今までに習つた歌の中で、子供たちの好きな歌を尋ねてみんなで歌ふのもよし、一人づゝ歌はせるのもよい。

遊戯 一回

これも子供たちにきいて見て、好きなものを何でもする。もう九月までみんなと一緒に遊ぶも出来ないのだから。あれもこれも忙しい。

波よ來い來い 戸倉ハル氏振付
小學唱歌七十一曲集

準備 圓周を作り内方を向く。

ナミヨイコイ

圓の中心に向つて四歩進む、兩手は下向に前にあげ波の様に動かし乍ら進む。

ココマデコイ

前と同じ動作で後すざりをし元の位置にかへる。

アンヨノトコマデ

手を腰にし、右足の踵を半歩程右斜前に出し、すぐ元に戻す。次に左足の踵を左斜前に出すすぐ元に戻す。

ヤツテコイ

前と同じ動作を右、左、ミ一回づゝ行ふ。

シロイオクツヲ

皆手をつなぎ圓心に向つて左足から四歩進む、四歩目の足は右足を踵だけ半歩右斜前に出すこまにする。

トリニコイ

後すざりにこきざみに歩き、元の位置に歸る。この時手ははなす。

ナミヨイコイココマデコイ

一番と同じ。

オヒザノウヘマデ

圓の内方をむき、互に手をさり、右足を膝を曲げて前にあげる、次に左足をあげる。

ヤツテコイ

前と同じ動作を、右、左、ミ一回づゝ行ふ。

アカイバケツヲ

手をきつたまゝ中心に向つて四歩進み、四歩目の時、上體を屈め、下にあるバケツを両手でかゝへる様にする。

トリニコイ

バケツをかゝへたまゝ、屈み腰で後にさがり元の位置に歸る。

ナミヨイコイココマデコイ

一番ミ同じ。

テノナルトコマデ

談話

第十三週

物いふ木

お姫様が、魔法にかゝつて、木に化けて森の中にあるミ、それを王様が探し出してもこの人間にする話。後の風琴物語と共に、不思議な力が一編を終始してゐて、いさゝかの矛盾のないいゝ話。

星の話

両手を體の右下に持つてゆき、拍手四回行ふ。同じ動作を左にも行ふ。

ヤツテコイ

前ミ同じ動作を右、左ミ一回づゝ行ふ。

ドンドンザブリト

圓の中心に向ひ、ミび込む様な形を二回行ひ乍ら進む。

ヨセテコイ

元の位置に後すざりにこきさまに走り乍ら戻る。

勿論星を特に取り出していふのでは無く、七夕まつりに關聯したものの。年少組では星の話はしなかつたが、この頃にもなれば、七夕さまが、星を祝福する祭りである所以を知らせる必要もある。又夏の晴れた大空に眩く星の数々、天の川なぎの話をして、今晚にでもお庭に出てお家の方達と一緒に見てごらんさいなごゝもいふ。

第十四週

はなしあひ

夏休みの前々日等に、夏休みの近いことを話しする。妙なもので、毎日幼稚園に来ることを、この上なく楽しんでるながら、来られなくなるお休みの、その夏休みを大そう喜ぶ。つまり日々登園してゐたのが、来なくなるさいふ變

観 察

第十三週

七夕まつり

年中行事の中でも一番ロマンティックで、床しいこのお祭りは幼稚園でも是非し度いものゝ一つである。手技に、談話に、誘導されてこの週はオール七夕であるから今更言ふ迄もないが、それにほんのつけたりとして、色彩感覺を言ふと少々堅くなるしくなるけれど、そんなものを養ふに洵によい機會だと思ふ。

化が一寸もの珍らしくもあり、又、この夏さいふ言葉の齋ら

してくる海、山の生活が楽しく豫想されるのもあらう。

豫定を云つても、子供自身にそれが云へる筈もないので、

こちらから、何處へは、決してきかない。子供の方から

いろ／＼云ふのは、さう／＼受けてきいておく。いろ

いろの諸注意は、生活訓練の方で。

朝顔の成長

殊更に言ふ迄もなく、この朝顔はみんなでまいたものである。その成長にはいつも氣をつけてゐる筈である。けれどこの位にまで伸びる頃は、兎もするに忘れ勝になる。そこで氣をつけて子供達と一緒に世話をする機會を多くし度いものである。

手
技

第十三週

自由畫 七夕かざりの寫生

保育室にかざつた七夕かざりを寫生する。

製作 七夕かざり

色紙、短冊の形の色模造紙に種々のきりぬきをはりつ

けて竹につける。又文字もかゝせる。

第十四週

自由畫 自在 一回

粘土 自在 一回

後記

○五月二十三日、日本幼稚園協會で春の講演會を開きました。田島、井口兩氏のお話は是非心得ておくべきこと、當日お出でにたれなかつた方々のためにもと思ひ、そのまゝ載せさせて頂きました。どうぞ御覽下さい。

○既に斯界の權威であり、なほ不斷の研究をつづけて居られる古川教授が、氣質に關しての一文を寄せて下さいました。幼兒の一人一人の氣質を、それを正しく認識してから、その上での保育であること、これを讀んで一層深く感じられました。

○小池教授の桃太郎の變遷を、朝日新聞で面白く讀みました。本誌にも早速お願ひいたしましたところ、今後引つゞいて、昔嘶の變遷を書いて下さるそうです。來月

號には、舌切雀の展開を書きませうといふお知らせでした。何にしてもまづ、桃太郎のから始る方がいゝと思ひ、筆者及び新聞社の諒解を得てこゝに轉載いたしました。

○坂内、留岡兩氏は實際保育の達人です。大いに得る所があります。新入園兒も漸く幼稚園に慣れてホツとしたところ、一しほ感慨深くお讀みの方もありませう。是からお辨當では一苦勞する時期、獻立を揭示しておいたら、大層お母さん方に喜ばれたとも聞きました。この兩氏のもの、田島、井口兩氏の講演と相銜して讀んで頂けば一層よいと思ひます。なほこの種の實際的いろいろのお試みがおありでせう。御寄稿下さい。

○近年二人のお嬢さんを、次々と小學校におくられたお母さま、岸田國士氏夫人が「母の話」を書いて下さいました。これは同時に「保姆の話」でもありません。直面試した保育以外に何も知らうとしないこと

は、向後の自らを推ふ時、まことに心細い氣がします。その意味で、桃太郎の變遷や、「母の話」を嬉しく拜讀しました。○子供の遊びについて、西田氏が研究發表をしてゐられます。こゝに掲げたのは最初の試みですが、この後も引つゞいて研究されてゐますから、また御參考にお知らせいたしませう。

○保育案の解説、今月は七月分を書きましたが、當園は十日で夏休みになりますので、例月より少なうございます。お断りまで。

○廣告で御覽の通り、保育に關する夏の講習會が方々で開かれます。勉強いたしませう。日本幼稚園協會でも開催いたしますから、どうぞお出で下さい。なほ、お申込みの際、住所姓名は楷書で書いて頂き度い。字の不明の爲に、係りの者が大そうな手間をとる事があります。

○梅雨の折柄皆様の御健康を祈ります。

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽 一
主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣 三
附屬幼稚園主事 倉橋 惣 三

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時總會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
一、幼児教育ニ關スル研究及ヒ調査
一、幼児教育ニ關スル講演會及ヒ講習

會ノ開催
一、雜誌發行(毎月一回)
一、幼児教育ニ關スル圖書刊行
一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長 一名 會務ヲ總理ス
主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス

幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁二等面一頁
半年分	金貳圓壹錢	金貳拾圓金拾圓
一冊送	金貳圓壹錢	金拾五圓御斷
六冊送	金貳圓壹錢	神田區駿河臺ノ三品田
拾冊送	金貳圓壹錢	廣告社に御申込下さい

昭和三十二年六月十五日發行
昭和三十一年六月十三日印刷納本
昭和三十二年六月十五日發行
昭和三十二年六月十三日印刷納本
昭和三十二年六月十五日發行
昭和三十二年六月十三日印刷納本

製復許不 載轉禁

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
發行所 倉橋 惣 三
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 柴山 則 常
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 倉橋 惣 三

發行所 日本幼稚園協會

振替口座東京一七二六六番
東京市小石川區大塚町三十五
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

定規文注

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。
一、(對券代用の場合には總て一割増)
一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に「前金切の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

東洋圖書の幼稚園名著

好評八版
東京女高師教授 倉橋惣三先生著

四六判美本 定價二圓五十錢
口繪多數入 送料十六錢

幼稚園保育法と眞諦

▲著者は我國保育界の宿本、最も完備し且系統ある保育原論の著者である。眞諦なる新保育法の實景を多數掲載せる最精最良の保育參考書。

【版三】 東京女高師教授 倉橋惣三先生 新庄よしこ先生 共著

本幼稚園史

判四六頁 價三、八〇 送〇、一八
苦心二十年の結晶完成、日本幼稚園史として比類なし。歴代皇后陛下行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の大記念塔である。

【版三】 東京女高師教授 附屬小學校主事 堀七藏先生著

幼稚園保育の諸問題

判四六頁 價二、八〇 送〇、一六
幼稚園經營並に保育實際に關する理論と實際の諸問題解決。小學校との連絡問題に付懇説。又保育實察に理論付けらる。

【十七版】 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

幼稚園の理論及實際

判三〇〇頁 價三、〇〇 送〇、一八
保姆檢定唯一の最良參考書。幼稚園書の王。内外の實際古今の理想悉く一卷に收められ、理論的形態完璧にて些の遺憾なし。

【八版】 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

保姆教育學

判三〇〇頁 價二、八〇 送〇、一六
保姆檢定試驗規則による1教育2兒童心理3教授法4管理法の大意を網羅せる保姆必須書。各府縣檢定指定の唯一參考書。

【六版】 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

幼稚園保育法

判三〇〇頁 價三、〇〇 送〇、一六
育兒法は保姆資格試験の必須科目で、本書は其の唯一參考書。保姆養成所教科書。附録に健康保險法種痘法等掲載し懇切を盡す。

【六版】 奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

幼稚園の經營

判三〇〇頁 價二、八〇 送〇、一六
經營方要目・保育要目・標準施設・時間配當・託児所經營等の重要問題を解決明示し、更に經營概論・保育諸問題等々懇説す。

東京大阪 東洋圖書株式會社發行

東京市神田區神保町一丁目(替振) 大阪市南區安堂寺一丁目(替振) 番七三〇一京東 番六五五九三阪大

夏休み前から

お休みへかけて

涼しい、おみやげ品の手技材料と
お子様方の歡ぶ保育品のいろいろ

御用意はたどいま!

- ◇團扇 淡い、紅、黄、紫、綠、水色
の五種。何れも貼紙クレオン等で
意匠して用ひます
- ◇各色取合五十本一組 金二圓五半錢
- ◇紙舟 茶ボールに印刷した厚紙細
工、剪つて開き鉄で止め、クレオン
色テープ等で意匠して水に浮かせま
す。五十個 金一圓
- ◇木舟 木製のお舟、エナメルで仕
上げ水に浮かせします
- ◇噴水 水槽、水管、鍍金十水盤
の一揃
- ◇ポンプ 消防用小型の機構。全部
金屬製ラッカー塗装、ホイス付。全
部 金十五圓
- ◇龍吐水 木製一臺 金二十圓
- ◇撤水車 便利で應用自在。金十二圓
- ◇砂場用具 一號品はバケツ、枡、
木鋤、新案杓子。二號品は鐵製シヤ
ベル、ホーレーキ、ホーク、板箕、
篩附屬。一組 金七十錢
二組 金七十錢
- ◇砂場の汽車とトンネル
- ◇盆提灯用織紙 一組 金一圓三十五錢
の二種。形はいろく、色は赤、水色、紋
中紙付 五十組 金七十五錢



食官ルベール社 株式會社

番七二八三(33)段九話電・二町保神・田神・京東 店本
番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大 所出

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和十一年六月十三日印刷納本
昭和十一年六月十五日發行

定價 三十五錢